FUJIFILM

Digital Photo Platform

FinePix PLATFORM HA-770

基　本　編 1

応　用　編 2

パソコン接続編 3

使用説明書

このたびは、弊社製品「フジフイルム ファインピックスプラットフォーム HA-770」をお買上げいただきありがとうございます。
この説明書には、フジフイルム ファインピックスプラットフォーム HA-770 の使い方がまとめられています。
内容をよくご理解の上、正しくご使用ください。

BB12087-100(1) J

安全上のご注意

●ご使用の前に必ず使用説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
●お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や障害の程度を次の表示で説明しています。	
警告	この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示の欄は「障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で説明しています。	
	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警　告

A C パワーアダプターの接続が不完全なまま使わない。A C パワーアダプターや電源コードを傷つけたり、加工しない。

無理に曲げたり、ねじったり、引っぱったりしないでください。
重い物を乗せたり、角が鋭利になった物をのせないでください。
熱器具に近付けたり、加熱したりしないでください。
ショートや発熱により感電や火災の原因となります。

本機の上や近くに液体容器や金属類を置かない。
内部に水や異物を落とさない。

水・異物が内部に入ったらスイッチを切り、電源プラグを抜いてください。
そのまま使用するとショートして感電や火災の原因となります。
●お買上げ店にご相談ください。

不安定な場所に置かない。
バランスがくずれて倒れたり落下したりして、けがの原因となります。

電源プラグを抜く

異常が起きたら、電源スイッチを切り、AC パワーアダプターを抜く。
煙が出ている、異臭がするなど、異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。
●お買上げ店にご相談ください。

指定以外の電圧で使用しない。
火災・感電の原因になります。

ぬれて禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電の原因になります。

分解や改造は絶対にしない（キャビネットは絶対に開けない）。
落としたり、キャビネットが破損したときは使用しない。
火災・感電の原因になります。
●お買上げ店にご相談ください。

AC パワーアダプターは必ず壁についているコンセントに直接接続してください。
テーブルタップでの延長や、タコ足配線は火災・感電の原因となります。

雷が鳴り出したら、AC パワーアダプターには触れないでください。
感電の原因となります。

乾電池は、充電しないでください。
乾電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となります。

乾電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。
乾電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となります。

⚠ 注　意

油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない。
火災や感電の原因になることがあります。

布や布団でおおったり、つつんだりしない。
内部に熱がこもり、火災・故障の原因になることがあります。
■次のようなことは絶対にしないでください。
●本機を風通しの悪い狭いところに押し込む。
●じゅうたんやふとんの上に置く。

⚠ 注　意

本機や Zip ディスクを寒いところから、急にあたたかいところへ移動させたとき、すぐに使用しない。
内部結露がなくなるまで充分時間をおきACパワーアダプターを接続してください。(1時間以上)

本機の上に重い物を置いたり、乗ったりしない。
バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

AC パワーアダプターをコンセントから抜くときは、電源コードを引っ張らない。
電源コードを引っ張るとコードが傷つき、感電や火災の原因になることがあります。必ずアダプターをもって抜いてください。

AC パワーアダプターを接続したまま移動しない。
電源コードが傷つき、感電や火災の原因になることがあります。

AC パワーアダプターが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。
感電、ショート、発火の原因となることがあります。

電源コードを熱器具に近づけないでください。
コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

お手入れの際や長期間使わないときは電源プラグを抜く。
安全のため電源プラグを抜いてください。

持ち運ぶときは、衝撃を与えないようにしてください。
故障の原因となることがあります。

指定以外の電池は使用しないでください。
電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

乾電池をリモコン内に入れる場合、極性表示（プラス＋とマイナス－の向き）に注意し、表示通りに入れてください。
間違えると乾電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

長期間使用しないときは、乾電池を取り出しておいてください。
乾電池の液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池入れについた液をよくふき取ってから新しい電池を入れてください。また万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

取り扱い上のご注意

■ 使用上のご注意

●設置場所について

○湿度や温度の高い場所、振動のある場所、直射日光の当たる場所、ほこりや砂の多い場所、雨水のかかる場所での使用および保管は避けてください。

○ラジオやテレビの受信障害となっている場合は、本機をラジオやテレビから離してください。

●使用の際に

○使用中に布や毛布で本機を包まないでください。誤動作や重大な事故の原因となることがあります。

○平らでしっかりとした面に設置してご使用ください。

○動作中に本機を移動しないでください。故障の原因となることがあります。

○動作中に衝撃や振動を加えないでください。エラーやデータをこわしたりする原因となることがあります。

●移動の際に

○梱包資材は保管しておいてください。後に本機を再び梱包して運送する際に必要となることがあります。

○本機を移動する場合は、必ず Zip ディスクを取り出してください。

●安全について

○異物や水などが本機内に入った場合は、直ちに使用を中止し、電源コードを抜いてお買い上げ店、またはフジサービスステーションまでご連絡ください。

● AC パワーアダプターについて

○本機には必ず専用の AC パワーアダプター AC-5VH(付属)をお使いください。AC-5VH 以外の AC パワーアダプターをお使いになると本機の故障の原因になることがあります。

○ AC パワーアダプターの接点部には、他の金属が触れないようにしてください。ショートする危険があります。

● Zip ディスクの取り扱い

Zip ディスクに保存されているデータを保護するため、以下の注意事項に従ってください。

○テレビやスピーカー、磁石により強い磁界が生じている場所の近くに Zip ディスクを放置しないでください。保存されたデータが消えてしまうことがあります。

○直射日光のあたる場所や熱器具の近くに Zip ディスクを置かないでください。ケース部分が曲がり、使用できなくなることがあります。

○湿度や温度の高いところに Zip ディスクを保存しないようにしてください。

○水などが Zip ディスクにかからないようにしてください。

○貴重なデータを守るため、Zip ディスクを使用しないときは本機から取り出して、ケースに保管しておいてください。

○本機では Zip ディスク 100MB、250MB 以外は使用できません。

※仕様および外観は改良のため、予告なく変更される場合がありますのでご了承ください。
使用説明書の記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。

■ 使用上のご注意

●著作権について
撮影、プリントされたものは個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

●データについて
記録内容の補償はできません。万一、機器やソフトウェアなどの不具合により書き込みや読み出しがされなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

■ お手入れについて

●キャビネットや操作パネル部分の汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で十分にふき取ってください。

●お手入れは、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

■ 商標について

●Zip™は米国IOMEGA社の商標です。

●Microsoft Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。

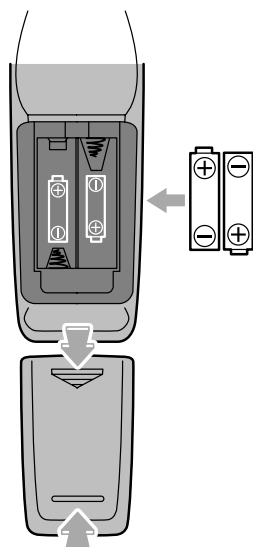
●Macintosh, iMac, Mac OSは米国Apple Computer, Inc.の登録商標です。

●SmartMedia™は、株式会社 東芝の商標です。

●その他の社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

リモコンについて

■リモコンの使い方

付属のリモコンRM-700を使うと、離れたところから操作ができて便利です。

●電池の入れ方

① ふたの ▽ を押しながら手前に引きます。
② 電池を入れます。⊕⊖ に注意してください。
③ ふたを閉めます。

●ご注意

〈リモコンについて〉
使用距離は約5mですが、設置場所の明るさによっては短くなります。

〈電池について〉

- ●単3形マンガン乾電池や単3形アルカリ乾電池を使用してください。
- ●新しい電池と使用した電池、あるいは種類やメーカーの異なる電池を混ぜて使用しないでください。
- ●リモコンの操作できる距離が、短くなったら交換時期です。
- ●長い間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。
- ●電池を交換するときは、2本とも新しい電池にお取り替えください。

※各ページの見方

◆特に注意のないときは、上図のような流れで読んでください。

目次

目次

パソコン接続編

その他

＜メモ＞本書全体の表記について
★【　】印で囲われた文字は、本機のボタンや画面の中のボタンを示します。
★ ⬭ 印で囲まれた文字は、本機のボタンを示します。

はじめに

■電源について
本機をお使いになるときは、付属のACパワーアダプター（AC-5VH）をご使用ください。「AC-5VH」以外のACアダプターをお使いになると、本機の故障の原因となることがあります。

■観賞できるデータについて
本機で観賞や保存できるのは、デジタルカメラでイメージメモリーカード（スマートメディア、PCカード）に記録された業界統一規格DCF*準拠、あるいはExif形式の静止画像データです。
*DCFは日本電子工業振興協会（JEIDA）で制定された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。

■使用できるスマートメディアについて
必ず弊社製のスマートメディアをお使いください。
本機では、動作電圧：3.3V、5V、メモリー容量：2MB、4MB、8MB、16MB、32MB、64MBのいずれのスマートメディアもご使用になれます。（3.3V仕様品の中には「3V」という表示のものがあります。）

■使用できるPCカードについて
必ず、PCカードTYPE Ⅰ／Ⅱ準拠、ATAモード対応カードをお使いください。なお、動作確認品はマイクロドライブ専用PCカードアダプター（IBM製、メルコ製及び弊社製）、メモリースティック用PCカードアダプターMSAC-PC2（ソニー製）、コンパクトフラッシュ用PCカードアダプター（サンディスク製）です。

■使用できるZipディスクについて
必ずZipディスク（250MB/100MB)*をお使いください。
*250MB/100MBは1MB=1,000,000bytesで計算したときの値です。
本機単体でお使いになる場合は、Windows／DOS用あるいは本機でフォーマットしたZipディスクをご使用ください。

■パソコン接続時の注意
パソコン及び本機をUSB接続して、パソコンからフォーマットしたメディアは本機単体でアクセスできない場合があります。

主な特長と使い方

●全てコピー
“スマートメディア・PCカード”に記録されたデジタルカメラの画像データを記録メディアZipディスクへ簡単に保存できます。

●アルバム再生
（全てコピー）ボタンで保存された画像は アルバムとしてZipディスク内に保存されテレビモニターで観賞できます。又、アルバム一覧（アルバム表示）、アルバム内の画像一覧（インデックス一覧表示）、1画面表示する事ができます。又、各表示画面毎のメニュー機能を使い、スライドショー・回転表示・ズーム表示・日付検索等の多彩なデジタルアルバム機能を楽しめます。

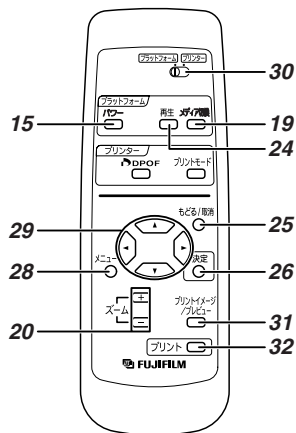
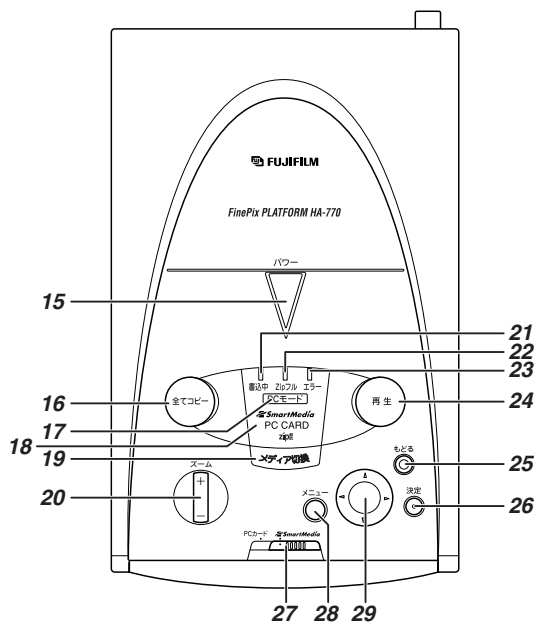
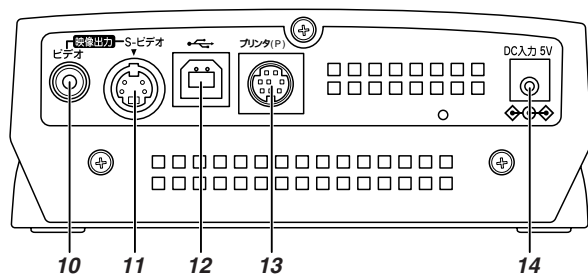
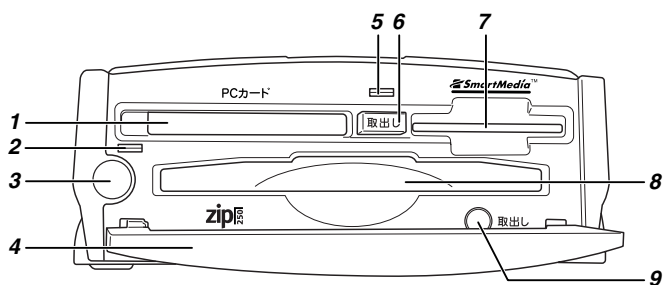
●カード再生
スマートメディア・PCカードに記録されたデジタルカメラの画像データを一覧表示(インデックス表示)、1画像単位でテレビモニターに表示できます。

●専用プリンターにて画像をプリント
専用プリンター(NX-700シリーズ・TX-70）へ画像データを専用プリンター接続ケーブルにて転送、ダイレクトプリントする事ができます。

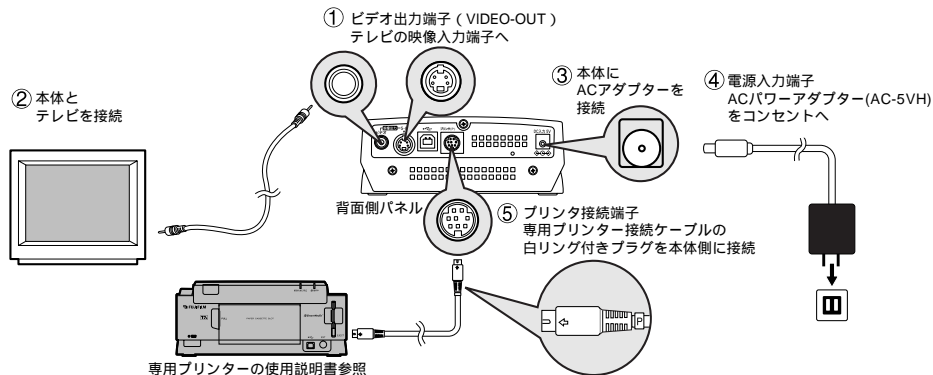
●パソコンにUSBにて接続 マルチメディア ドライブ
USBにてパソコンと接続し、Zipディスク・スマートメディア・PCカードがリムーバブルメディアとして使用可能です。

付属品

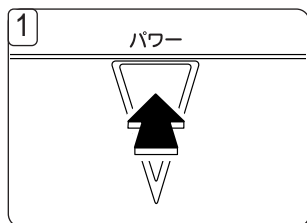
■本機には以下の付属品が同梱されています。お使いになる前にお確かめください。

品名	数量	品名	数量
ACパワーアダプター（AC-5VH）	1個		
リモコン（REMOTECONTROLLER RM-700）	1個	専用プリンター接続ケーブル	2本
リモコン用乾電池（単3形）	2本	使用説明書（本書）	1冊
Zipディスク（100MB）	1枚	保証書	1部
ビデオケーブル（ピンプラグ・約1.5m）	1本	ゴム足	2個
S-ビデオケーブル（約1.5m）	1本	CD-ROM	1枚

各部の名称と機能

① PCカードスロット	ここにPCカードを差し込みます。スマートメディアスロットにスマートメディアが差し込まれているときや、PCカード／スマートメディア切換スイッチが「スマートメディア」になっているときは、PCカードを差し込むことはできません。
② Zipディスクアクセスランプ	Zipディスクが動作しているときに点灯します。
③ リモコン受光部	リモコンをここに向けて使用します。
④ メディアカバー	各メディアをセットするときや、取り出すときに開けます。通常は、メディアカバーを閉めておいてください。
⑤ カードアクセスランプ	PCカードまたはスマートメディアが動作しているときに点灯します。
⑥ PCカード/スマートメディア取出しボタン	PCカードまたはスマートメディアを取り出すときに押します。
⑦ スマートメディアスロット	ここにスマートメディアを差し込みます。PCカード／スマートメディア切換スイッチが「PCカード」になっているときは、スマートメディアを差し込むことはできません。
⑧ Zipディスクスロット	ここにZipディスクを差し込みます。
⑨ Zipディスク取出しボタン	Zipディスクを取り出すときに押します。
⑩ ビデオ出力端子	ここにビデオケーブル（付属）を接続して、テレビに接続します。
⑪ S-ビデオ出力端子	テレビにS-ビデオ入力端子がある場合、ここにS-ビデオケーブル（付属）を接続して、テレビに接続します。（画質が向上します。）
⑫ USB端子	ここにUSBケーブル（別売品）を接続して、パソコンに接続します。接続しないときは、本機単体で機能します。
⑬ プリンタ接続端子	ここに専用プリンター接続ケーブル（付属）で、FinePixプリンターNX-700シリーズ（別売品）またはデジタルプリンターTX-70（別売品）と接続します。
⑭ 電源入力端子	ここにACパワーアダプター（付属）を接続します。
⑮ パワーボタン	電源をON／OFFするときに押します。
⑯ 全てコピーボタン	PCカードまたはスマートメディアのいずれかセットされているメディアのデータをすべてZipディスクにコピーします。
⑰ PCモードランプ	PCモード時（USB端子からパソコンに接続しているとき）に点灯します。
⑱ 選択メディアランプ	現在選択されているメディアのランプが点灯します。
⑲ メディア切換ボタン	PCカードまたはスマートメディアのいずれかセットされているメディアと、Zipディスクとを切り換えます。（「トップメニュー」画面表示中のみ有効です）
⑳ ズームボタン（＋）	画像を拡大するときに押します。
⑳ ズームボタン（－）	拡大した画像を縮小するときに押します。
㉑ 書込中ランプ	コピー中に点灯します。
㉒ Zipフルランプ	Zipディスクの空き容量がなくなったときに点灯します。
㉓ エラーランプ	エラーが発生したときに点滅します。
㉔ 再生ボタン	画像を再生するときに押します。（「トップメニュー」画面表示中のみ有効です）
㉕ もどるボタン	操作中、ひとつ前の画面に戻るときに押します。
㉖ 決定ボタン	選んだ項目や画像を決定し、実行するときに押します。
㉗ PCカード／スマートメディア切換スイッチ	スロットに差し込むメディア（PCカードまたはスマートメディア）を切り換えるときに使います。
㉘ メニューボタン	メニューを表示／非表示するときに押します。
㉙ 十字ボタン（▲▼◀▶）	画面の項目や画像を選択するときに押します。
㉚ プラットフォーム／プリンター切換スイッチ	リモコンの機能をプラットフォームまたはプリンターに切り換えるときに使います。プラットフォームに合わせてお使いください。
㉛ プリントイメージ／プレビューボタン	アルバム再生、カード再生時で、プリント画質調整を行うときに押します。DPOF編集では使えません。
㉜ プリントボタン	プリントするときに押します。（別売の専用プリンター接続時）

接続のしかた

※ワイドテレビでは、テレビの表示モードによってオンスクリーン表示の文字や、インデックス画像表示が欠ける場合があります。
そのような場合には、テレビの表示モードを切り換えて標準のテレビモードでご使用ください。

※本体背面のビデオ出力端子から、テレビのビデオ入力端子に付属のビデオケーブル（ピンプラグ）で接続します。テレビにS-ビデオ入力端子があれば付属のS-ビデオケーブルでつなげます。画質が向上します。
ビデオ入力端子については、テレビの使用説明書を合わせてご参照ください。

電源の入れかた

①テレビの電源を入れ、画面をビデオ入力モードに切り換えてください。

●ビデオ入力切り換えについては、テレビの使用説明書を併せてご参照ください。

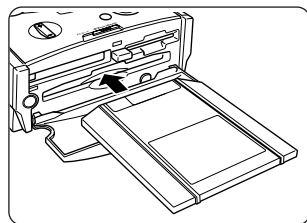
②パワーボタンを押し、電源を入れます。電源ランプが“ 緑色 ”に点灯します。

●もう一度パワーボタンを押すと、電源が切れます。（本機が待機状態となり電源ランプが“ 橙色 ”に点灯します。）

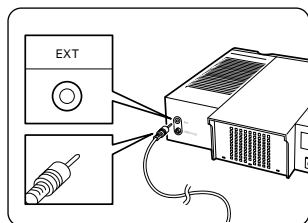
③電源を入れると、テレビ画面にはトップメニューが表示されます。

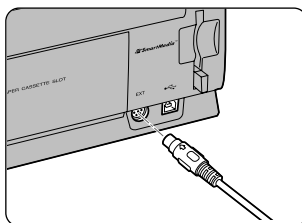
●電源が待機中（電源ランプ“ 橙色 ”）のときと、電源を接続してすぐご使用になるときでは、トップメニューの出る時間が多少異なります。

メディアの出し入れ

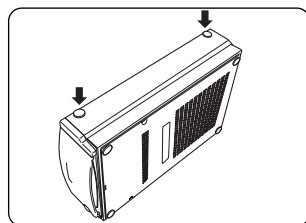
Zipディスクの出し入れ

電源が入った状態（電源ランプが“ 緑色 ”）でZipディスクをZipディスク挿入口に差し込みます。取り出すときは、挿入口の下にある取出しボタンを押してください。

●Zipディスクアクセスランプ点灯中は、取出しボタンを押さないでください。

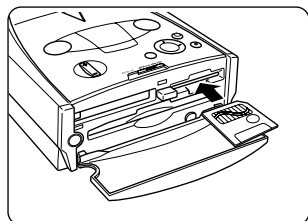
プリンターとの接続のしかた(1)

別売のデジタルプリンターTX-70と接続するには上のように付属の専用プリンター接続ケーブルにて接続します。

プリンターとの接続のしかた(2)

別売のFinePixプリンターNX-700シリーズと接続するには上のように付属の専用プリンター接続ケーブルにて接続します。

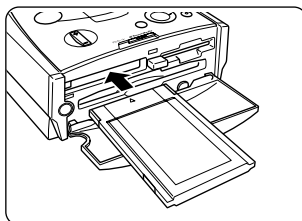
- 8ピンタイプのケーブルを使用してください。ケーブルに矢印が付いています。これを上にして接続します。

縦置きで使用するには

添付のゴム足を好みの側面の円のマークに合わせて貼り、下側にして使用します。

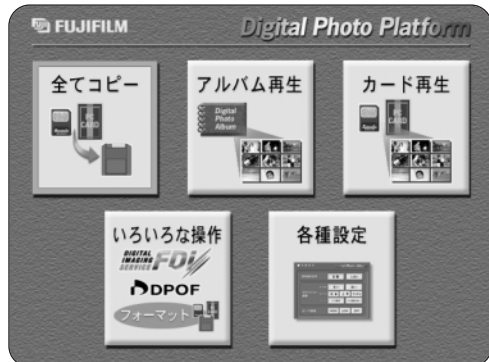
左下へ

スマートメディアの出し入れ

PCカード／スマートメディア切換スイッチをスマートメディアに合わせて、スマートメディアを、接触面（金色の部分）を上にして挿入します。取り出すときは挿入口の横にある取出しボタンを押してください。

- スマートメディアのアクセスランプ点灯中は、取出しボタンを押さないでください。
- スマートメディアの接触面（金色の部分）には触らないでください。
- PCカードを挿入しているときは、スマートメディアは挿入できません。

PCカードの出し入れ

PCカード／スマートメディア切換スイッチをPCカードに合わせて、PCカードを挿入します。
取り出すときは挿入口の横にある取出しボタンを押してください。

- PCカードのアクセスランプ点灯中は、取出しボタンを押さないでください。
- PCカードは、表面を上にして、コネクタ部（▲のついた側）をスロットに向けてセットしてください。
- PCカードアダプターを本機に挿入しているときは、記録メディアの挿入，取り出しを行わないでください。記録メディアが破壊することがあります。必ず本機の取出しボタンでPCカードアダプターを取り出してから記録メディアの挿入、取り出しを行ってください。
- スマートメディアを挿入しているときは、PCカードは挿入できません。
- 使用できるPCカードについては、【その他】の「主な仕様」（→P.66）をご覧ください。

トップメニュー画面の表示内容

トップメニューには次の5つの基本機能が表示されます。

＊本書でいうアルバムとは、Zipディスクに保存された画像のまとまりのことを示します。

トップメニューは電源を入れたときに表示されます。

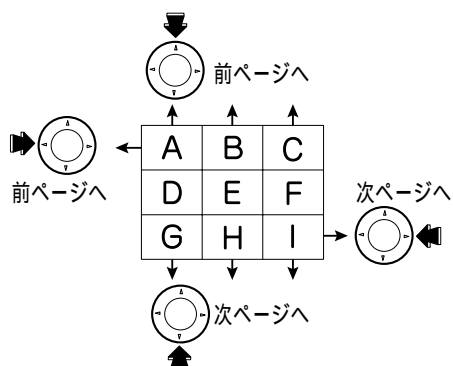
全てコピー	スマートメディアやPCカードに入っている画像を全てZipディスクにコピーします。
アルバム再生	Zipディスクにアルバムとして保存されている画像を再生し、それぞれの画像に対して操作します。詳しくは【応用編】「アルバムを再生する」（→P.22）をご覧ください。
カード再生	スマートメディアやPCカードに保存されている画像を再生します。詳しくは【応用編】「カードの画像を再生する」（→P.30）をご覧ください。
いろいろな操作	スマートメディアやPCカード、Zipディスクに保存されている画像をDPOF登録・編集したり、カードやZipディスクのフォーマットができます。詳しくは【応用編】（→P.32〜37）をご覧ください。
各種設定	スライドショーに関する設定をしたり、ビープ音の設定をしたりします。詳しくは【応用編】「各種設定を行う」（→P.38）をご覧ください。

メニューバーの使いかた

選択しているアルバムや画像に対して実行できる操作を画面下部に表示させます。

メニュー ボタンを押します。

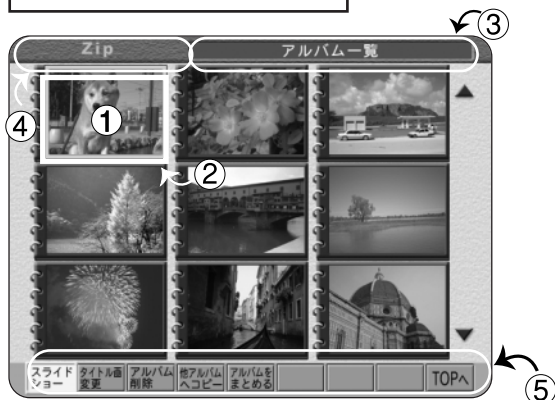
メニューバーが表示されますので、十字ボタンの “◀ ▶” でカーソルを合わせ、決定 ボタンを押します。

十字ボタンの使いかた

①十字ボタンの “ ▶ ” を押すと、(A)(B)(C)(D)の順に枠が移動します。この枠がカーソルです。その枠内が現在、選択されていることを示しています。

② (決定) ボタンを押すと、その作業や画像が実行されます。

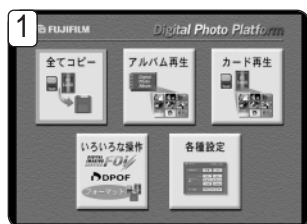
（本書では左図の（A)(B)(C）を最上段（G)(H)(I）を最下段として説明します。）

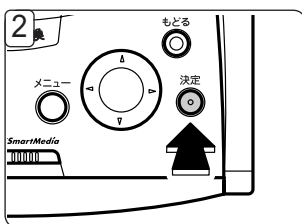
左下へ

基本作業画面について

①選択画像	選択したい画像や選択した画像が表示されます。
②カーソル	選択した画像を示す枠です。十字ボタンの “▲▼◀▶” によって移動します。
③タイトル	現在の画面の状態や現在行う作業が表示されます。
④メディア表示	現在作業中のメディアが表示されます。
⑤メニューバー	(メニュー) ボタンを押すと、画面最下部にメニューバーが表示されます。選択されている項目は青枠（メニューカーソル）で表示されます。画面によって表示される項目は異なります。

1

スマートメディア／PCカードからの画像を全て保存する

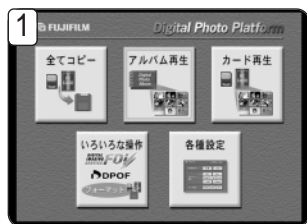
PCカードやスマートメディアに入っている画像を全てZipディスクにコピーし、１つのアルバムとして保存します。

①トップメニューで十字ボタンの“▲▼◀▶”を押してカーソル移動させ、【全てコピー】に合わせます。

●本体の 全てコピー ボタンを１秒以上押すことでも、PCカードやスマートメディアに入っている画像を全てZipディスクにコピーができます。
テレビモニターに接続できない場合にお使いください。

② 決定 ボタンを押します。

カードからの画像が全てZipディスクにコピーされます。

●コピー中は、Zipディスクとスマートメディア／PCカードのアクセスランプが点灯し、書込中ランプが点灯します。アクセスランプが点灯している時は、取出しボタンを押さないでください。
●Zipディスクの容量がいっぱいになったときには、Zipフルランプが点灯します。
コピーを続けるにはZipディスクを充分な容量のあるものと差し換えて、決定 ボタン、又は 全てコピー ボタンを押してください。

アルバムを観賞する

■保存されているアルバムが10冊以上あるときは…

①トップメニューで十字ボタンの“▲▼◀▶”を押してカーソル移動させ、【アルバム再生】に合わせ、決定 ボタンを押します。

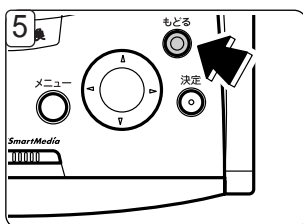
Zipディスクに保存されているアルバムのタイトル画が表示されます。

●タイトル画には、特に指定しない場合、各アルバムの中で最初に保存した画像が表示されます。

①つぎのページにあるアルバムを見たいときは、画面の最下段にカーソルを合わせます。

Zipディスクへのコピーが終了すると画面に「コピーが終了しました」というメッセージが表示されます。

●「全てコピー」中にエラーが発生した場合エラーランプが点滅します。
点滅した場合は正常にコピーできていません。電源を一度切ってからやり直してください。

●カードに入っている画像が9,999枚を超えているときは、10,000枚目以降の画像はコピーされません。

③もどる ボタンを押します。
トップメニューへ戻ります。

●スマートメディア／PCカード1枚を、アルバム1冊としてZipディスクにコピーできます。
カードの中の画像を選択してコピーすることもできます。
（→P.31）

●コピーを中止する場合はもどるボタンを押します。
（※もどる ボタンを押してもすぐに中止しない場合があります。ご注意ください。）

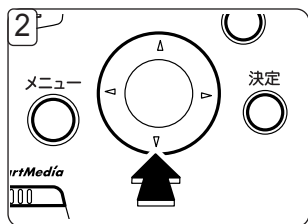
●コピーした画像は保存されていることを必ずご確認ください。操作は「アルバムを観賞する」（→P.18）を参照ください。

左下へ

■アルバムの中身を見たいときは…

1

①見たいアルバムのタイトル画に十字ボタンの“▲▼◀▶”でカーソルを合わせ、決定 ボタンを押します。

2 メニュー 決定 SmartMedia

②十字ボタンの“▼”を押します。

つぎのページにあるアルバムのタイトル画が表示されます。
前のページに戻るときは、画面の最上段にカーソルを合わせ、十字ボタンの“▲”を押します。

次ページへ続く

画面上には、アルバムの中に入っている9コマまでの画像が一覧（インデックス）表示されます。

■1コマの画像だけ見たいときは…

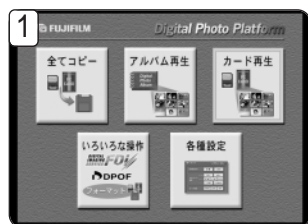
①見たい画像に十字ボタンの“▲▼◀▶”でカーソルを合わせ、決定ボタンを押します。

●コマの右上に動画マークのついた画像は動画ファイル（AVI）です。この画像（動画）は一画面表示できません。

選択した画像が1画面表示されます。

●他の画像を1画面表示したいときは、十字ボタンの“◀▶”を押します。

このページの
左下へ

スマートメディア／PCカードからの画像を再生する

①トップメニューで十字ボタンの“▲▼◀▶”を押してカーソル移動させ、【カード再生】に合わせ、決定 ボタンを押します。

●アクセス中は、スマートメディア／PCカードのアクセスランプが点灯します。

カードに保存されている画像が一覧（インデックス）表示されます。

●画像が表示途中の時はメニューの操作が遅くなります。

■応用編もお読みください。

基本編では、主に画像を見る機能について説明しました。この他にも、それぞれのアルバムに対して、またそれぞれの画像に対して行える便利で楽しい機能がたくさん備えられています。引き続き応用編もお読みになり、正しくお使いください。

アルバム一覧を見る

①トップメニューから「アルバム再生」を選択して 決定 ボタンを押します。
② メニュー ボタンを押すと画面下にメニューバーが表示されます。

③十字ボタンの “◀ ▶” でメニューカーソルを移動して、決定 ボタンを押すことでいろいろな機能が実行できます。

特別なアイコン表示

アイコン	内容
／	本機で扱えない画像
≷	データが壊れている画像

1 スライドショーを見る

①「アルバム一覧」画面のメニューバーの【スライドショー】を選択し、決定 ボタンを押します。
アルバム内の画像が次々と全画面表示されます。

- 一時停止したいときは、もどる ボタンを押します。再開は 決定 ボタンを押します。
- 中止したいときは、一時停止中に もどる ボタンを押します。
- スライドショーの設定は「各種設定」（→P.38）で行います。

2 アルバムのタイトル画を変更する

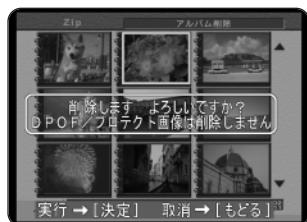
①タイトル画を変更したいアルバムを選択します。
②「アルバム一覧」画面のメニューバーの【タイトル画変更】を選択し、決定 ボタンを押します。

③選択したアルバムの「インデックス一覧」画面が表示されます。
④タイトル画にしたい別の画像にカーソルを合わせ、決定 ボタンを押します。
前のタイトル画のチェックマーク ✔ が消え、新たに選んだ画像がタイトル画となり、アルバム一覧へ戻ります。

- タイトル画変更を中止したいときは、もどる ボタンを押します。

	メニュー名	機　　能
1	スライドショー	アルバム内の画像を、自動的に順次表示します。 ＊ スライドショーの設定は「各種設定を行う」（→P.38）で行います。
2	タイトル画変更	アルバムの表紙になる画像（タイトル画像）を変更します。
3	アルバム削除	アルバムごと削除します。（プロテクトした画像、DPOF登録画像は削除しません。）
4	他アルバムへコピー	アルバム内の画像を他のアルバムへコピーします。
5	アルバムをまとめる	2つのアルバムを一つにまとめます。
	TOPへ	トップメニューに戻ります。

左下へ

3 アルバムを削除する

①「アルバム一覧」画面のメニューバーの【アルバム削除】を選択し、(決定) ボタンを押します。
②削除するアルバムを選択し、(決定) ボタンを押します。
③削除を実行するときは (決定) ボタンを押します。

●アルバム削除を中止したいときは(もどる)ボタンを押します。

4 アルバム内の画像を他のアルバムへコピーする

①「アルバム一覧」画面から、コピーする画像を含むアルバムを選択します。
②メニューバーの【他アルバムへコピー】を選択し、(決定) ボタンを押します。
③コピーする画像を選択し、(決定) ボタンを押します。
選択した画像にチェックマーク✔がつきます。
④コピー先のアルバムを選択し、(決定) ボタンを押します。

次ページへ続く

5 アルバムをまとめる

①「アルバム一覧」画面のメニューバーの【アルバムをまとめる】を選択し、(決定) ボタンを押します。

② 1つ目のアルバムを選択し、(決定) ボタンを押します。
選択した1つ目のアルバムにチェックマーク✔がつきます。

③ 2つ目のアルバムを選択し、(決定) ボタンを押します。
選択した2つのアルバムがまとめられます。

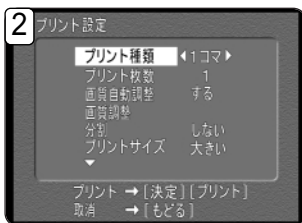
●まとめるアルバムを選択した後、選択を解除したいときは解除したい画像を選択し、(決定) ボタンを押すか、(もどる) ボタンを押します。

アルバムの中の画像を見る

①「アルバム一覧」から見たいアルバムを選択して (決定) ボタンを押します。

1 プリントする

画像を別売の専用プリンターでプリントします。

①「インデックス一覧」画面で、メニューバーから【プリント】を選択し、(決定) ボタンを押します。

②「プリント設定」画面でプリントする種類、枚数などを設定し、(決定) ボタンまたは、リモコンの (プリント) ボタンを押します。プリントが開始されます。

●プリントをやめたいときには、(もどる) ボタンを押します。「プリント設定」画面の場合は「インデックス一覧」へ戻り、「プリント中」の場合は、現在プリント中の画像が終わり次第、次のプリントに行かずに、プリントを終了して「インデックス一覧」画面に戻ります。（複数枚のプリント時に有効です）

「画質調整」画面

●「プリント設定」画面で【画質調整】を選択し、(決定) ボタンを押した場合は「画質調整」画面が表示されます。
●プリントの画質は十字ボタンの“▲▼”で項目を選択し“◀▶”で調整します。(決定) ボタンで「プリント設定」画面に戻ります。設定した画質がプリントに反映されます。
●画質を変更しない場合は、(もどる) ボタンで「プリント設定」画面に戻ります。

② メニュー ボタンを押すと画面下にメニューバーが表示されます。

	メニュー名	機　能
1	プリント	インデックス一覧の画像を1コマずつ選択し、選択した画像を別売の専用プリンターでプリントします。
2	1コマ削除	画像をアルバムから削除します。（プロテクトした画像、DPOF登録画像は削除できません。）
3	プロテクト	画像を誤って削除しないように画像にプロテクトを設定します。
4	日付検索*	撮影した日付で見たい画像を探します。
5	新しい順*	画像を日付の新しいものから順番に並べ替えます。
6	古い順*	画像を日付の古いものから順番に並べ替えます。
7	入替え	画像の順番を入替えます。
8	カードへコピー	画像をカードへコピーします。（回転画像は、カードへコピーできません。元に戻してコピーしてください。）
	TOPへ	トップメニューに戻ります。

*インデックス一覧表示時のみ有効です。

左下へ

「プリント設定」（FinePixプリンターNX-700接続例）

設定項目	設定値	操　作
プリント種類	**1コマ**／全コマ／インデックス	十字ボタン“◀ ▶”を押して選択
プリント枚数	**1**〜99枚	十字ボタン“◀ ▶”を押して選択
画質自動調整	**する**／しない	十字ボタン“◀ ▶”を押して選択
画質調整		決定ボタンで画質調整へ
分割	**しない**／2／4／9／16／25	十字ボタン“◀ ▶”を押して選択
用紙	**ノーマル**／シール	十字ボタン“◀ ▶”を押して選択
プリントサイズ	**大きい**／普通	十字ボタン“◀ ▶”を押して選択
データープリント	しない／**日付**／ファイル名	十字ボタン“◀ ▶”を押して選択
プリントモード	**フォト**／はがき	十字ボタン“◀ ▶”を押して選択
メニュー初期化		決定 ボタンで初期化

（※設定値の［初期設定］は **白抜き** 表示してあります）

・動画ファイル（AVIファイル）、回転画像、本機で扱えない画像、データが壊れている画像はプリントできません。

★左記のプリント設定はFinePixプリンターNX-700が接続されたときの設定例です。デジタルプリンターTX-70を接続した場合は、設定できない項目や表示されない項目があり、1800（横）×1200（縦）ピクセルを超える画像をプリントすることはできません。

★プリント設定値や画像によって設定を変更できない項目があります。その際、設定できない物に関しては項目を表示しません。

●（表示しない例：「プリント種類」を［インデックス］に設定した場合には「分割」「用紙」「プリントサイズ」「プリントモード」は表示されません）

次ページへ続く

2 日付検索する

①「インデックス一覧」画面のメニューバーの【日付検索】を選択し、(決定) ボタンを押します。

②十字ボタンの "▲▼" を押して、設定したい項目を反転させ、十字ボタンの "◀ ▶" を押して検索日付を設定します。

③ (決定) ボタンを押します。
検索結果が表示されます。

●検索方法で「範囲」を選択すると、検索日付を範囲で指定できます。

●「以前」または「以降」を選択すると、日付の入力設定が1つになり、指定日付よりも前に撮影された画像か、後に撮影された画像かを検索することができます。

3 画像の順番を新しい順に並べ替える

①「インデックス一覧」画面のメニューバーの【新しい順】を選択し、(決定) ボタンを押します。
画像が上の画面のように新しい順に並び替えられます。

6 画像にプロテクトをかける

①メニューバーの【プロテクト】を選択し(決定)ボタンを押します。

②プロテクトする画像を選択し (決定) ボタンを押します。画像に [鍵] マークがつき、プロテクトがかかります。

●プロテクトは、複数の画像に設定できます。

●プロテクトを解除するには、プロテクトのかかっている画像を再び選択し、(決定)ボタンを押します。画像上の [鍵] マークが消えます。

●プロテクトをやめるには、(もどる) ボタンを押します。

7 画像を削除する

①「インデックス一覧」画面のメニューバーの【1コマ削除】を選択し、(決定) ボタンを押します。

②削除する画像を選択し、(決定) ボタンを押します。

③『削除します　よろしいですか？』と表示されますので、削除するときは (決定) ボタン、削除をやめるときは (もどる) ボタンを押します。

8 画像をカードにコピーする

①「インデックス一覧」画面のメニューバーの【カードへコピー】を選択し、(決定) ボタンを押します。

②コピーする画像を選択し、(決定) ボタンを押します。選択した画像にチェックマーク ✔ がつきます。

●コピーする画像を選択した後、選択を解除したいときは、解除する画像にカーソルを合わせ、 (決定) ボタンを押します。

4 画像の順番を古い順に並べ替える

①「インデックス一覧」画面のメニューバーの【古い順】を選択し、決定 ボタンを押します。
画像が上の画面のように古い順に並び替えられます。

5 画像を入替える

①「インデックス一覧」画面のメニューバーの【入替え】を選択し、決定 ボタンを押します。
②入替える1つ目の画像を選択し、決定 ボタンを押します。
選択した画像に上のようにチェックマーク✔がつきます。

③入替える２つ目の画像を選択し、決定 ボタンを押します。
画像が入替えられます。

●入替える画像を選択した後、選択を解除したいときは選択した画像で 決定 ボタンを押すか、もどる ボタンを押します。

左下へ

③ メニュー ボタンを押してメニューバーを表示させます。
④メニューバーの【カードへコピー開始】を選択し、決定 ボタンを押します。

⑤コピーが実行されます。

●コピーをやめるときは、もどる ボタンを押します。
●カードの容量がいっぱいのときは、もどる ボタンを押して「インデックス一覧」画面に戻りますので空き容量の充分なカードに入替えてやり直してください。
●コピーした画像をデジタルカメラで再生する場合は、お手持ちのデジタルカメラが「DCF準拠」でないと再生できません。

ヒント　Zip ディスクから別の Zip ディスクへコピーしたいときは・・・

①Zipディスクから別のZipディスクへコピーする方法は、まず、充分な空き容量のあるカードを用意します。
②「インデックス一覧」画面のメニューバーから【カードへコピー】を選択し、決定 ボタンを押します。
③コピーする画像を選択して、メニュー ボタンを押し、メニューバーから【カードへコピー開始】を選択し 決定 ボタンを押します。

次ページへ続く

④コピーが実行され、カードに選択した画像がコピーされます。

⑤コピーが終了したら、決定ボタンで「インデックス一覧」画面に戻ります。
⑥メニューボタンを押し、【TOPへ】を選択して、決定ボタンを押します。

⑦Zipディスクを別のディスクに入れ替えて、TOP画面から「全てコピー」を選択して決定ボタンを押します。
⑧カードからZipディスクへ、選択した画像がコピーされます。

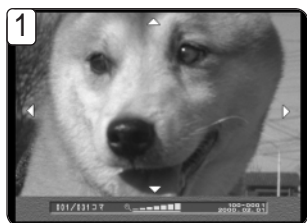
●「インデックス一覧」画面から本体の全てコピーボタンを押した場合もコピーを開始します。

ひとつの画像に対して操作する

①「1画面表示」画面で、メニューボタンを押します。
②十字ボタンの“◀ ▶”でメニューカーソルを移動して、決定ボタンを押すことで、いろいろな機能が実行できます。

	メニュー名	機　　能
	プリント	選択した画像を別売の専用プリンターでプリントします。操作は、「アルバムの中の画像を見る」の「プリントをする」（→P.24）と同じです。
	1コマ削除	選択した画像をアルバムから削除します。（プロテクトした画像、DPOF登録画像は削除できません。）操作は、「アルバムの中の画像を見る」の「画像を削除する」（→P.26）と同じです。
1	回転	画像を回転させて表示します。回転させた状態で保存する事もできます。（DPOF登録画像の回転はできません。）
2	全画面	画像を全画面で表示します。
	TOPへ	トップメニューに戻ります。

●そのほか、こんな機能もあります

■画像を拡大して見る

①「インデックス一覧」または「1画面表示」で、ズームボタンの“＋”を押します。
②ズームボタンの“＋/－”と十字ボタンの“▲▼◀▶”で、表示させたい大きさと位置を決めて、(決定)ボタンを押します。

●ズームをやめるときは、(もどる)ボタンを押します。
●拡大した画像を縮小する場合は、ズームボタンの“－”を押します。

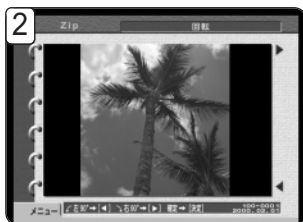
③ズームを確定すると「1画面表示」画面になり、ズームした画像が1画面で表示されます。

●ズームした画像は、別売の専用プリンターでプリントするときに反映されます。プリントに関しては、「アルバムの中の画像を見る」の「プリントする」（→P.24）をご確認ください。

左下へ

1 画像を回転させる

①「1画面表示」画面のメニューバーから【回転】を選択し、(決定)ボタンを押します。

●保存した後で元に戻す場合は逆方向に回転させて保存してください。

②十字ボタンの“◀▶”を押すと、左回り／右回りに90度ずつ回転します。（上の画面は、左に90度回転させた画像です）
③ (もどる) ボタンを押すと、回転した画像は保存されず、「1画面表示」画面に戻ります。
④ (決定) ボタンを押すと、画像が回転した状態で保存されます。

2 画像を全画面表示する

①「1画面表示」画面のメニューバーから【全画面】を選択し、(決定)ボタンを押します。

●全画面表示を元に戻すときは、(もどる)ボタンを押します。

カードの画像の一覧を見る

①トップメニューから「カード再生」を選択し 決定 ボタンを押すと、カード再生の「インデックス一覧」画面が表示されます。
② メニュー ボタンを押すと、画面下にメニューバーが表示されます。

●カードに9,999枚を超える画像が入っている場合は、10,000枚目以降の画像は再生されません。

	メニュー名	機　　能
	プリント	インデックス一覧の画像を1コマずつ選択し、選択した画像を別売の専用プリンターでプリントします。操作は、「アルバムの中の画像を見る」の「プリントする」（→P.24）と同じです。
	日付検索＊	撮影した日付で見たい画像を探します。操作は、「アルバムの中の画像を見る」の「日付検索する」（→P.26）と同じです。
	新しい順＊	画像を日付の新しいものから順番に並べ替えます。操作は、「アルバムの中の画像を見る」の「画像の順番を新しい順に並べ替える」（→P.26）と同じです。
	古い順＊	画像を日付の古いものから順番に並べ替えます。操作は、「アルバムの中の画像を見る」の「画像の順番を古い順に並べ替える」（→P.27）と同じです。
1	選択コピー	カード内の画像を選択して、アルバムに保存します。
	TOPへ	トップメニューに戻ります。

＊インデックス一覧表示時のみ有効です。

◆カードに保存されている全ての画像を、既存のアルバムに保存するときは…

①「選択コピー」画面で メニュー ボタンを押します。
②メニューバーの【全て選択】を選択し、決定 ボタンを押します。全ての画像にチェックマーク ✔ がつきます。

●選択を全て解除したいときは、メニュー ボタンを押して、【全て解除】を選択し、決定 ボタンを押します。

③保存先のアルバムを選択し、決定 ボタンを押します。画像がアルバムに保存されます。

◆カードから選択した画像を、新規に作成したアルバムに保存するときは…

①アルバムに保存する画像を選択し、決定 ボタンを押します。選択した画像にチェックマーク ✔ がつきます。
② メニュー ボタンを押し、メニューバーから【新規アルバムへコピー】を選択し、決定 ボタンを押します。
③画像が新しく作成されたアルバムに保存されます。

●全ての画像を新規アルバムに保存したいときは、メニューバーから【全て選択】を行った後に、【新規アルバムへコピー】を選択し、決定 ボタンを押します。

●そのほか、こんな機能もあります

■画像を拡大して見る

画像を拡大し、細部を表示させます。

①「インデックス一覧」または「1画面表示」で、ズームボタンの“＋”を押します。
②ズームボタンの“＋/－”と十字ボタンの“▲▼◀▶”で、表示させたい大きさと位置を決めて、決定 ボタンを押します。

●ズーム操作は「アルバムの中の画像を見る」の「画像を拡大して見る」（→P.29）と同じです。
●アルバムのときと同様に、ズームした画像は、別売の専用プリンターでプリントするときに反映されます。
●カードの場合、ズームの画像情報は保存されません。ズームした画像は別の画像を表示したときに元に戻ります。

1 画像を選択してアルバムに保存する

①「インデックス一覧」画面のメニューバーから【選択コピー】を選択し、決定 ボタンを押します。
②アルバムに保存する画像を選択し、決定 ボタンを押します。選択した画像に上のようにチェックマーク✔がつきます。

●選択した画像を解除するには、解除する画像にカーソルを合わせ、決定 ボタンを押します

③保存先のアルバムを選択し、決定 ボタンを押します。

④選択したカードの画像をアルバムに保存します。

左下へ

ひとつの画像に対して操作する

①「インデックス一覧」画面から見たい画像を選択して 決定 ボタンを押します。
② メニュー ボタンを押すと、画面下にメニューバーが表示されます。

メニュー名	機　　能
プリント	選択した画像を別売の専用プリンターでプリントします。操作は、「アルバムの中の画像を見る」の「プリントする」（→P.24）と同じです。
全画面	画像を全画面で表示します。操作は、「1つの画像に対して操作する」の「画像を全画面表示する」（→P.29）と同じです。
TOPへ	トップメニューに戻ります。

いろいろな操作

①「いろいろな操作」画面を表示させるには、トップメニューから「いろいろな操作」を選択して (決定) ボタンを押します。上の画面が表示され、表のような操作を行うことができます。

DPOFに関する操作	カードやZipディスクに記録されている画像に対して、プリントしたいコマや枚数などのDPOF指定情報を作成したり、また、作成されたDPOF指定情報を編集したりすることができます。 ＊本機以外(デジタルカメラ、パソコン）で作成されたDPOF情報は、表示、追加登録、編集、DPOFプリントできない場合があります。 ＊パソコンと接続して「DP Editor」で作成したDPOF情報はDPOF編集やDPOFプリントできない場合があります。
フォーマット	カード（スマートメディア、PCカード）／Zipディスクをフォーマットします。

FDiプリントについて

- フジカラーのお店（FDi取り扱い店）で、プリント注文ができます。
- ご注文は、FDiデジタルカメラプリントサービスをご指定ください。
- Zipディスクでご注文される場合は、Zipディスク100MBをお使いください。
  （注）Zipディスク250MBでの、FDiプリントサービスは平成12年11月現在行われておりません。
- ご注文の際は、必ず本機でDPOF登録してサービスをお受けください。
- 本機での再生画像とFDiプリントでは、縦横比の違いによりプリント領域に若干の違いが生ずることがあります。ご了承ください。

DPOF登録する

画像にDPOFを設定するためには、まずその画像をDPOF登録します。ここでは、スマートメディア／PCカードからの画像や、Zipディスクに保存されているアルバムや画像をDPOF登録する手順を説明します。

①スマートメディア／PCカードの画像をDPOF登録するときは、「いろいろな操作」画面で【カード】を、Zipディスクの画像をDPOF登録するときは、【Zip】を選択して (決定) ボタンを押します。

②上の画面で「DPOF登録」を選択し、(決定) ボタンを押します。

●①で【Zip】を選択したときは③の「DPOF登録（アルバム一覧)」画面へ、【カード】を選択したときは⑦の「DPOF登録（インデックス一覧)」画面へ進みます。

③アルバムの中の画像を一括でDPOF登録するには、登録したいアルバムを選択して (決定) ボタンを押します。

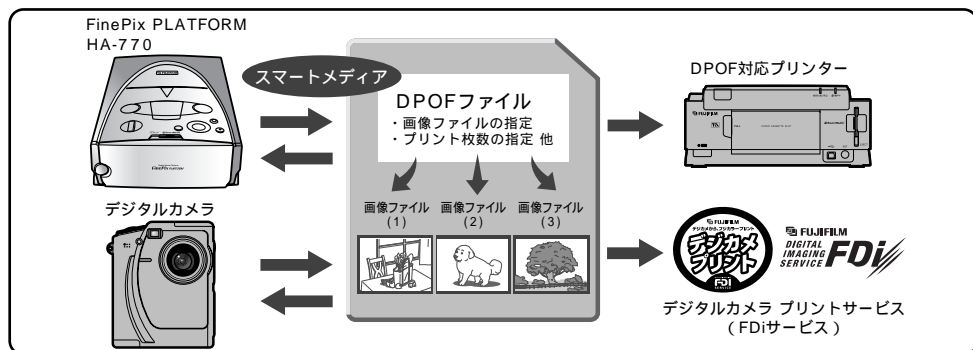
④DPOF登録をする場合は、(決定) ボタンを押します。現在の登録枚数がプリントマーク 01 (登録枚数01枚の場合）で表示されます。

●DPOF登録しないときは、上の画面のときに (もどる) ボタンを押します。

⑤アルバムの中の画像を個別にDPOF登録したい場合は、見たいアルバムを選択して (メニュー) ボタンを押します。

⑥メニューバーから【インデックス一覧へ】を選択し、(決定) ボタンを押します。

DPOFについて

DPOF（ディーポフ）とはDigital Print Order Format（デジタルプリントオーダーフォーマット）のことで、デジタルカメラで撮影した画像の中から、プリントしたいコマやその枚数などの指定情報をスマートメディアなどに記録するときの形式です。

- 本機では上記の情報をスマートメディアやZipディスクに記録することができ、DPOF情報にそったプリントができます。
- FinePixプリンターNX-700など、DPOF対応プリンターでは、DPOF情報があれば、登録コマ（画像ファイル）を指定枚数だけ自動的にプリントできます。

※DPOFに登録できない画像
①動画ファイル（AVIファイル）
②本機で回転させた画像
③サイズが640×480ピクセル未満の画像
④フォルダ名／ファイル名が半角英数字以外で書かれている画像

左下へ

⑦インデックス一覧の画像を個別でDPOF登録するには、登録したい画像を選択して（決定）ボタンを押します。
⑧DPOF登録をする場合は、（決定）ボタンを押します。現在の登録枚数がプリントマーク 01（登録枚数01枚の場合）で表示されます。

- DPOF登録しないときは、上の画面のときに（もどる）ボタンを押します。
- 「DPOF編集」画面でインデックス指定されている場合は、ここで登録した画像も、インデックスプリントの対象となります。

⑨選択画像を1画面で表示させたい場合は、画像を選択して（メニュー）ボタンを押します。
⑩メニューバーから【1画面へ】を選択し、（決定）ボタンを押します。

⑪1画面表示の画像を個別でDPOF登録するには、登録したい画像を選択して（決定）ボタンを押します。
⑫上の画面が表示され、DPOF登録をする場合は、（決定）ボタンを押します。現在の登録枚数がプリントマーク 01（登録枚数01枚の場合）で表示されます。

- DPOF登録しないときは、上の画面ときに（もどる）ボタンを押します。
- 画像を全画面表示するには、（メニュー）ボタンを押し、メニューバーから【全画面】を選択します。また、全画面を元に戻すときは、全画面表示中に（もどる）ボタンを押します。

DPOF画像を確認する

①スマートメディア／PCカードの画像をDPOF確認するときは、「いろいろな操作」画面で【カード】を、Zipディスクの画像をDPOF確認するときは、【Zip】を選択して (決定) ボタンを押します。

②上の画面で「DPOF編集」を選択し、(決定) ボタンを押します。

③「DPOF編集（インデックス一覧）」画面が表示され、DPOFの設定情報が各画像の上に表示されます。

④画像を1画面表示させる場合は、表示させる画像を選択して、(メニュー) ボタンを押します。メニューバーが表示されます。

⑤メニューバーから【1画面へ】を選択し、(決定) ボタンを押します。

⑥「DPOF編集（1画面表示）」が表示され、DPOFの設定情報が画像の左下に表示されます。

●画像を全画面表示するには、(メニュー) ボタンを押し、メニューバーから【全画面】を選択します。また、全画面を元に戻すときは、全画面表示中に (もどる) ボタンを押します。

■メニューからDPOF設定情報を編集する

①「DPOF編集（インデックス一覧）」画面で (メニュー) ボタンを押すと、上の画面のようにメニューバーが表示されます。

DPOFマーク
- インデックスマーク
- トリミングマーク
- 日付プリントマーク
- 01 プリント枚数マーク

	メニュー名	機　　能
1	インデックス指定（解除）	DPOF編集画面で表示されている全ての画像を、インデックスプリントするように設定します。（最初のコマ画像の上にインデックスマーク がつきます）
2	DPOFプリント	DPOF編集画面で表示されている全ての画像を、DPOF設定にしたがってプリントします。
3	全コマ削除	DPOF編集画面で表示されている全ての画像を、DPOF編集画面から削除（DPOF登録を解除）します。
4	カードへコピー	「Zip」のDPOF編集画面で表示している全ての画像を、DPOF設定と一緒に「カード」へコピーします。FDiサービスのお店へカードをお持ちいただけば、そのままの設定でプリントすることができます。 ＊「カード」のDPOF編集画面では、このメニューは表示されません。
	1画面へ	選択した画像を1画面表示します。詳しくは「DPOF画像を確認する」（→P.34）をご覧ください。
	TOPへ	トップメニューに戻ります。

DPOF画像を編集する

■ 枚数／日付プリントの設定、登録画像の解除

1

①「DPOF編集（インデックス一覧）」画面で、DPOF確認する画像を選択し、(決定) ボタンを押します。
②ウィンドウ表示の変更したい項目を十字ボタンの“▲▼◀▶”で選択して、設定を変更します。

●プリント枚数を変更するときは、「枚数」を選択して、十字ボタンの“◀ ▶”で枚数を設定します。枚数は99枚まで設定できます。
●プリントに日付を入れるときは、「日付指定」を選択して、十字ボタンの“◀ ▶”で「する」を設定します。日付プリントマーク が表示されます。
●選択した画像をDPOF登録から解除（DPOF編集画面から削除）したいときは、ウィンドウ表示の「解除」を選択して、(決定) ボタンを押します。『DPOF登録を解除しますよろしいですか？』と表示されますので、解除するときは(決定) ボタン、解除しないときは (もどる) ボタンを押します。

2

③設定が終わったら「解除」以外を選択して (決定) ボタンを押します。上の画面のようにウィンドウ表示が消え、新たに「枚数」「日付指定」情報が更新されます。

●設定を変更しない場合は(もどる) ボタンを押します。上の画面のようにウィンドウ表示が消えますが、「枚数」「日付指定」情報は変更しません。
●他の画像のDPOF設定も変更するときは、十字ボタンの“▲▼◀▶”で別の画像を選択して(決定) ボタンを押し、②以降の操作を行います。

左下へ

1 インデックスプリントを指定（解除）する

①「DPOF編集（インデックス一覧）」画面で、メニューバーから【インデックス指定】を選択して、(決定) ボタンを押します。

②画面に表示されている全ての画像がインデックス登録され、上の画面のように、登録コマの先頭のみにインデックスマーク のついた画像が新たに表示されます。

●インデックス指定されているときは、DPOF登録画面では全てのコマにインデックスマークがつきます。

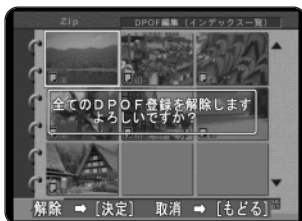
●インデックス指定を解除するには、再び (メニュー) ボタンを押し、メニューバーから【インデックス解除】を選択します。インデックスプリントの設定を解除し、インデックスマークが のついた画像が消えます。
●本機以外（デジタルカメラ、パソコン）で作成されたインデックス指定画像は、登録画像の先頭コマのみが表示されます。インデックス指定された画像全てを見るには、DPOF指定情報を作成した機器、あるいはソフトウェアでご確認ください。

次ページへ続く

2 DPOF設定でプリントする

①「DPOF編集（インデックス一覧）」画面で、メニューバーから【DPOF プリント】を選択して、(決定)ボタンを押します。
②プリントするときは(決定)ボタンを押します。DPOF設定にしたがってプリントします。

●プリントをやめるときは、(もどる) ボタンを押します。
●本機以外で作成されたDPOF情報は、プリントされない場合があります。

3 全画像を DPOF から解除する

①「DPOF編集（インデックス一覧）」画面で、メニューバーから【全コマ解除】を選択して、(決定) ボタンを押します。
②全ての画像をDPOF登録から解除（DPOF編集画面から削除）するときは、(決定)ボタンを押します。

●解除しないときは、(もどる) ボタンを押します。

4 DPOF画像をカードへコピーする

（※「カード」のDPOF編集画面では、このメニューは表示されません。）

①「DPOF編集（インデックス一覧）」画面で、メニューバーから【カードへコピー】を選択します。
②空のカードを挿入します。
③コピーを実行するときは(決定)ボタンを押します。

●コピーをやめるときは、(もどる) ボタンを押します。

■ メニューから操作する

①「DPOF編集（1画面表示）」画面で (メニュー) ボタンを押すと、上の画面のようにメニューバーが表示されます。

メニュー名		機　　能
1	1コマプリント	1画面表示されている画像だけを、DPOF設定にしたがってプリントします。
2	全画面	1画面表示している画像を全画面表示します。
	TOPへ	トップメニューに戻ります。

1 DPOF設定で1コマプリントする

①「DPOF編集（1画面表示）」画面で、メニューバーから【1コマプリント】を選択して、(決定) ボタンを押します。
②プリントするときは(決定)ボタンを押します。DPOF設定にしたがってプリントします。

●プリントをやめるときは、(もどる) ボタンを押します。

●そのほか、こんな機能もあります

■ トリミングプリントを設定する

①DPOF編集（インデックス一覧）」または「DPOF編集（1画面表示）」で、ズームボタンの“＋”ボタンを押します。
②ズームボタンの“＋/－”と十字ボタンの“▲▼◀▶”で、プリントしたい大きさと位置を決めて、(決定)ボタンを押します。

●ズーム操作は「アルバムを再生する」の「画像を拡大して見る」（→P29）と同じです。
●ズームをやめるときは、(もどる)ボタンを押します。

③ズームを確定すると「DPOF編集（1画面表示）」画面に移動し、ズームした画像が1画面表示されます。また、ズームされた画像情報がDPOF設定に記録され、設定された画面上にトリミングマーク がつきます。

DPOF画像を1画面で編集する

■ 枚数／日付プリントの設定、登録画像の解除

①「DPOF編集（1画面表示）」画面で、DPOF編集する画像を選択し、(決定)ボタンを押します。
②ウインドウ表示の変更したい項目を十字ボタンの“▲▼◀▶”で選択して、設定を変更します。

●（※この操作は、「DPOF画像を編集する」（→P.35）と同じです）

左下へ

2 画像を全画面表示する

①「DPOF編集（1画面表示）」画面で、メニューバーから【全画面】を選択して、(決定)ボタンを押します。

●全面表示を元に戻すときは、(もどる)ボタンを押します。

カード／Zipディスクをフォーマットする

①「いろいろな操作」画面で、スマートメディア／PCカードをフォーマットする場合は【カード】を、Zipディスクをフォーマットする場合は【Zip】を選択して(決定)ボタンを押します。
②フォーマットを実行する場合は、(決定)ボタンを押します。

フォーマットが実行されます。

●フォーマットが終了したら、(決定)ボタンを押して、「いろいろな操作」画面へ戻ります。
●メディアにプロテクトがかかっているときは、フォーマットできません。プロテクトを解除してからフォーマットしてください。
●パソコンでフォーマットしたメディアおよび本機をパソコンに接続してリムーバブルメディアとして使用してフォーマットしたメディアは本機では取り扱えません。

各種設定を行う

簡易機能説明設定、スライドショー設定、ビープ音の設定をします。

①トップメニューから「各種設定」を選択して 決定 ボタンを押します。

	項目名	機　　能
1	簡易機能説明	簡易機能説明（デモ表示）を実行するかしないか設定します。
2	スライドショー設定	表示単位、表示方向、画像の表示が終わったときに、初めからくり返して表示するか設定します。
3	ビープ設定	ビープ音について、HIGH／LOW／OFFを設定します。

●現在の設定には、黄枠が表示されています。

スライドショーについての設定を行う

1 スライドショーの表示単位を設定する

スライドショーを表示するとき、メディアに保存されている全ての画像を表示するか、アルバム単位で表示するかを設定します。

①「各種設定」画面で「スライドショー」の「表示単位」に十字ボタンの“▲ ▼”でカーソルを合わせます。
十字ボタンの“◀ ▶”で、表示単位の設定を行い、決定 ボタンを押します。

2 スライドショーの表示方向を設定する

①「各種設定」画面で「スライドショー」の「表示方向」に十字ボタンの“▲ ▼”でカーソルを合わせます。
十字ボタンの“◀ ▶”で、表示方向の設定を行い、決定 ボタンを押します。

3 スライドショーのループを設定する

①「各種設定」画面で「スライドショー」の「ループ」に十字ボタンの“▲ ▼”でカーソルを合わせます。
十字ボタンの“◀ ▶”で、繰り返すか、繰り返さないかの設定を行い、決定 ボタンを押します。

簡易機能説明について

簡易機能説明では、本機でできる作業の流れをデモ表示します。

①「各種設定」画面で「簡易機能説明」に十字ボタンの“▲ ▼”でカーソルを合わせます。十字ボタンの“◀ ▶”で、自動／しないの設定を行い、(決定) ボタンを押します。
【自動】を選択した場合、簡易機能説明が実行されます。
【しない】を選択した場合、簡易機能説明は実行されません。

簡易機能のオートプレイ動作について

トップメニュー画面の状態で、且つスマートメディア、もしくはPCカードが挿入されていない状態で5分間何も操作しないと自動的に簡易機能説明が始まります。

左下へ

ビープ音についての設定を行う

①「各種設定」画面で「ビープ設定」に十字ボタンの“▲ ▼”でカーソルを合わせます。
十字ボタンの“◀ ▶”で、HIGH／LOW／OFFの設定を行い、(決定) ボタンを押します。

2

添付 CD-ROM のソフトウェアについて

重　要

お客さまへ…ご使用になられる前に必ずお読みください。

ソフトウェアおよび使用説明書についてのご注意

（1）添付のソフトウェアおよび使用説明書の一部または全部を、許可なく転載したり複製することはできません。
（2）添付のソフトウェアは、１台の機器について使用できます。
（3）添付のソフトウェアおよび使用説明書により機器を使用して、お客様または第三者にいかなる損害が発生した場合にも、弊社はその責任を一切負いかねますのでご了承ください。
（4）本製品につきましては万全を期しておりますが、万一製造上の原因による不良品がありましたら、お取り替えいたします。それ以外につきましてはご容赦ください。
（5）メディアに記録されていたデータについての補償は、ご容赦ください。
（6）ソフトウェアおよび使用説明書の内容は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。
（7）使用説明書の記載の誤りなどについての補償は、ご容赦ください。

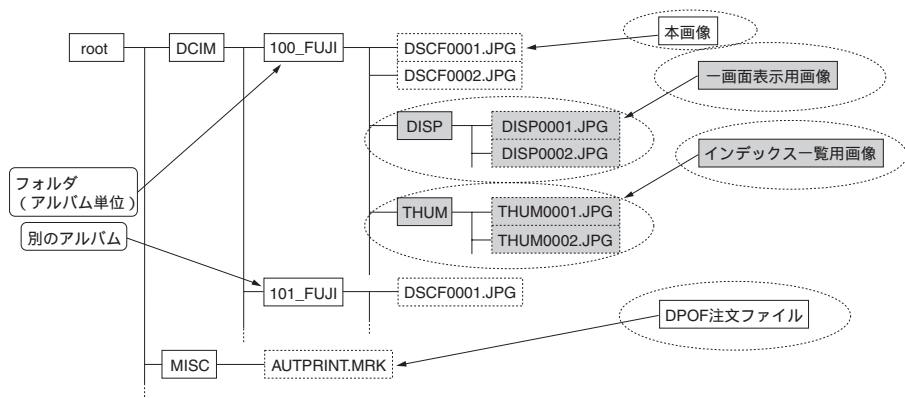
＊パソコンの機種によってはご使用になれない場合があります。

本製品に同梱されている CD-ROM を音楽用 CD プレーヤーにかけないでください。
耳に障害を負う恐れや、スピーカー、イヤホンなどを破損する恐れがあります。

本書はパーソナルコンピュータ（以下パソコン）と Windows、Macintosh の使用方法に関する基本的な知識をお持ちになっていることを前提として書かれています。
パソコンと Windows、Macintosh の使用方法については、それぞれに付属のマニュアルをご覧ください。

■使用上のご注意

スマートメディア、PCカードから「Zipディスク」(アルバム）へ保存した画像データは、下記ディレクトリ構造のように、本画像の他に一画面表示用画像、インデックス一覧用画像を新たに作成して保存していますので以下の事にご注意ください。

【ディレクトリ構造】

●パソコンでDCIMまたはMISCディレクトリ内のファイルの消去、上書き、移動、加工などを行わないでください。
アルバムとして再生できなくなります。

●「Zipディスク」(アルバム）でフジフイルム　デジタルカメラプリントサービス(ご注文書によるFDiサービス）をお受けになる場合、必ずプリントしたい画像をDPOF登録し、フジフイルム　デジタルカメラプリントサービス取り扱い店で、“ DPOF指定 ”でご注文してください。
DPOF登録しないで“ 全コマプリント ”でご注文されると、
一画面表示用画像、インデックス一覧用画像も本画像と重複してプリントされます。

3

ソフトウェアの紹介

添付のCD-ROMの中のソフトウェアを簡単に説明します。

USB Mass Storage Driver　ユーエスビー・マス・ストレージ・ドライバ

USB Mass Storage Driver（以下 USB Driver）は、本機をUSB接続ストレージ装置として動かすためのドライバソフトウェアです。本ソフトウェアをインストールすることで、画像をパソコンで見たり、コピーしたり、パソコンのデータをリムーバブルメディアに書き込むことができます。

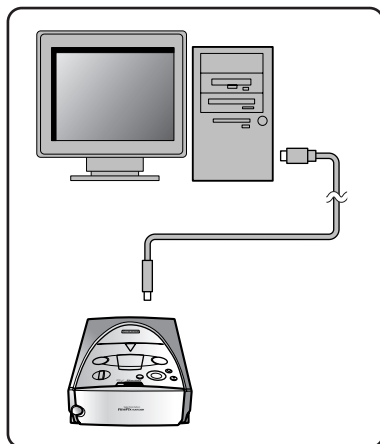
Exif Viewer　イグジフ・ビュアー

リムーバブルメディアの画像やパソコン内の画像の一覧表示 / インデックスプリント / 画像の表示 / 簡単な加工 / プリントなどができます。

●スマートメディア、PCカードから「Zipディスク」(アルバム）に保存した画像は消去、上書き、移動、加工などを行わないでください。
アルバムとして再生できなくなります。

DP Editor　ディーピー・エディター

デジタルカメラプリントサービス（FDiサービス）またはDPOF（デジタルプリントオーダーフォーマット）対応プリンターを利用してプリントを得る際に、プリントについての情報を作成できます。

●DP Editorで作成したDPOF情報は、「DPOF登録する」（→P.32～）の操作では編集できない場合があります。

Windowsにインストールする

ここでは、USB DriverをWindowsで使用するためのセットアップ方法を説明しています。

1 動作環境

本ソフトウェアをお使いいただくには、以下の条件が揃っていることが必要です。
インストールを始める前にお確かめください。

動作するパソコンはIBM PC/AT互換機およびNEC PC98-NXシリーズで、Windows 98、またはWindows 2000 Professionalがプレインストールされているパソコンです。

対応機種　：IBM PC/AT互換機(DOS/V機)*
NEC PC98-NX *
(* USBが標準サポートされているモデル)
OS　：Windows 98 日本語版（Second Editionを含む）
Windows 2000 Professional 日本語版
(Administratorグループでログインしてください。)
CPU　：200MHz以上　Pentium
メモリ　：32MB以上
ハードディスク空き容量：インストールに必要な容量　…… 60MB以上
動作に必要な容量　………………110MB以上

●パソコン本体と本機は直接USBケーブルで接続してください。USBハブを経由して接続した場合、正常に動作しないことがあります。
●USBインターフェースボードを使用した場合の動作保証はいたしません。
●Windows 95（OSR2を含む）では使用できません。
●自作パソコンは、動作保証外です。

QuickTime　クイックタイム
デジタルカメラで撮影した動画などを再生するためのソフトウェアです。

Exif Launcher　イグジフ・ランチャ（Windows版のみ）
Exif Launcherは、USBインターフェースを装備している本機やデジタルカメラなどがパソコンに接続されたとき、自動的にExif Viewerを立ち上げて画像一覧を表示させるソフトウェアです。

Acrobat Reader　アクロバット・リーダー
添付のCD-ROM内の使用説明書を読むためのソフトウェアです。

●本体の メディア切換 ボタンでZipディスクとメモリーカード（スマートメディアまたはPCカード）とを切り換えることができます。

●本セットにはUSBケーブルが同梱されておりません。USB Driverをご使用いただくには市販のUSBケーブルが必要です。
●パソコンから書き込んだ画像データは本機のアルバムとしては再生できません。
●パソコンのリムーバブルディスクとして使用する「Zipディスク」と、スマートメディア、PCカードから画像データを保存する「Zipディスク」（アルバム）は別のものをご用意ください。
●パソコンでフォーマットされたメディアは本機単体では、アクセスできない場合があります。
●パソコンからフォーマットされた「Zipディスク」は、起動ディスクとして使用できません。

左下へ

2 USB Driverのインストール

①パソコンの電源を入れて、Windows を起動します。
②「マイ コンピュータ」をダブルクリックして開きます。

●インストールが完了すると、新たなリムーバブルディスクが増えます。

③添付のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。
④本機にデジタルカメラで撮影したメディアをセットして電源を入れます。
⑤USBケーブルを使って、本機とパソコン本体のUSBポートを接続します。

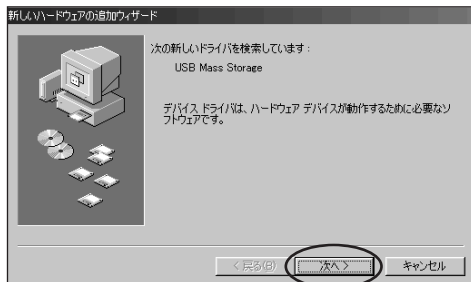
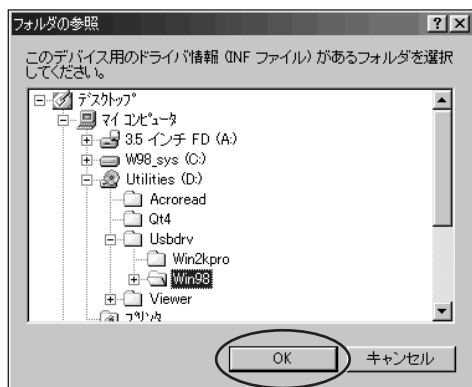
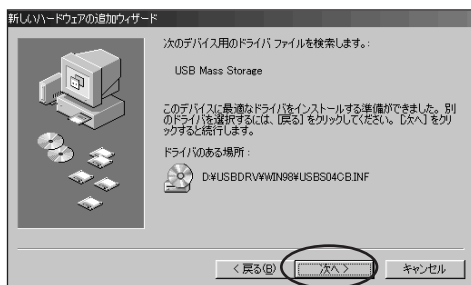
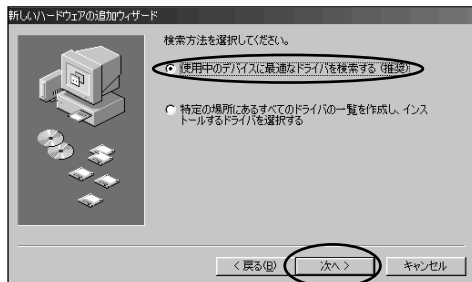
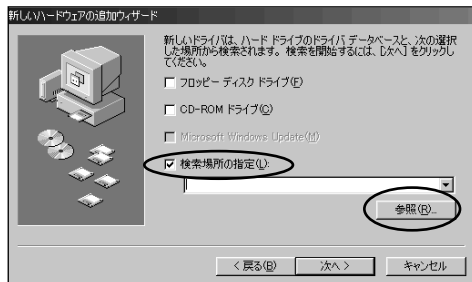
次ページへ続く

●パソコン本体のUSBポートと接続してください。USBハブ経由の場合には正常に動作しない場合があります。USBポートが2つ以上ある場合は、どのポートに接続してもかまいません。

●USBコネクタは奥まで差し込んで、確実に接続してください。正しく接続されていない場合は、正常に動作しません。

●エラーなく通信するため、USBケーブルは延長ケーブルを接続せずにお使いください。

※Windows 2000 Professionalをお使いの方は、「Windows 2000 Professionalの場合」（→P.46）の手順6へ進んでください。

● Windows 98の場合

⑥「新しいハードウェアの追加ウィザード」のウィンドウが表示されますので、“ 次へ> ” ボタンをクリックします。

⑨CD-ROMドライブの\USBDRV\WIN98フォルダを選択して、“ OK ” ボタンをクリックし、「新しいハードウェアの追加ウィザード」ダイアログの“ 次へ> ” ボタンをクリックします。

⑩USBS04CB INFが検出されたのを確認して“ 次へ> ” ボタンをクリックします。

⑦「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨)」を選択し、“ 次へ> ” ボタンを クリックします。

⑧上の画面が表示されたら、「検索場所の指定」をチェックして、“ 参照 ” ボタンをクリックします。

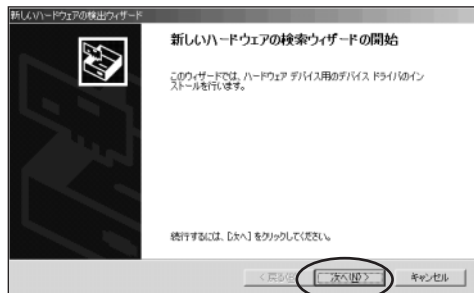
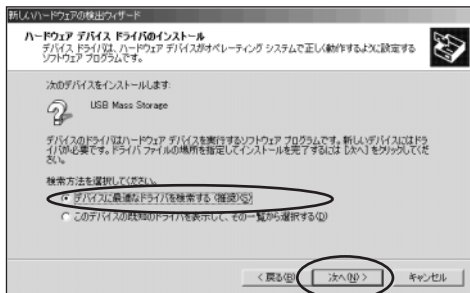
●パソコンの種類によっては、表示が多少異なる場合があります。

左下へ
⑪ドライバのインストールが終了すると、上のような画面が表示されますので、“ 完了 ” ボタンをクリックします。
⑫「マイ コンピュータ」に新たにリムーバブルディスクアイコン（本機）が現れたら、セットアップは完了です。

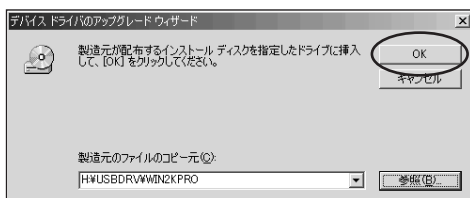
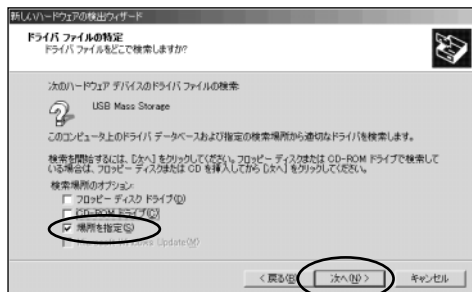
●リムーバブルディスクとして本機のZipディスク、PCカード、スマートメディアはパソコンからリード・ライトすることができます。

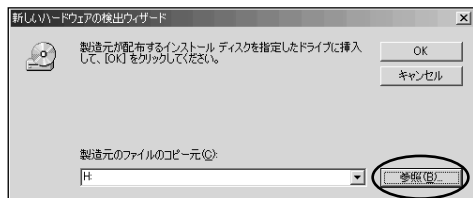
次ページへ続く

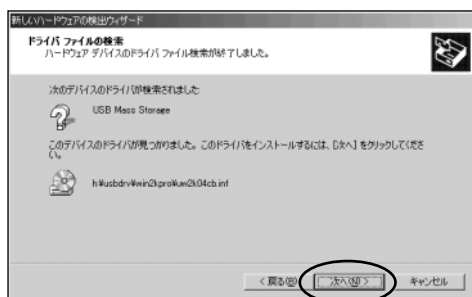
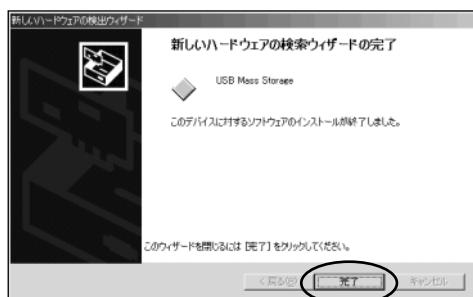
添付のソフトウェアを使用する

● Windows 2000 Professionalの場合

⑥「新しいハードウェアの検索ウィザード」のウィンドウが表示されますので、“ 次へ> ” ボタンをクリックします。

⑦「デバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選択し、“ 次へ> ” ボタンをクリックします。

⑩ CD-ROM ドライブの \USBDRV\WIN2KPRO を選択して “ 開く ” ボタンをクリックします。

●左側のアイコンをクリックすると簡単に場所が選択できます。

⑪場所の指定ダイアログの “ OK ” ボタンをクリックします。

⑧「ドライバファイルの特定」で、「場所を指定」をチェックして、“ 次へ> ” ボタンをクリックします。

●パソコンの種類によっては、表示が多少異なる場合があります。

⑨場所の指定ダイアログが表示されますので、“ 参照 ” ボタンをクリックします。

左下へ

⑫UW2K04CB.INFが検出されたことを確認したら、“ 次へ> ” ボタンをクリックします。

⑬ドライバのインストールが終了すると、右のような画面が表示されますので、“ 完了 ” ボタンをクリックします。

⑭「マイ コンピュータ」に新たにリムーバブルディスクアイコン（本機）が現れたら、セットアップは完了です。

次ページへ続く

3 添付アプリケーションのインストール

①他のアプリケーションを終了します。
タスクバー上からアプリケーションの表示がなくなるまで、他のアプリケーションソフトを終了してください。

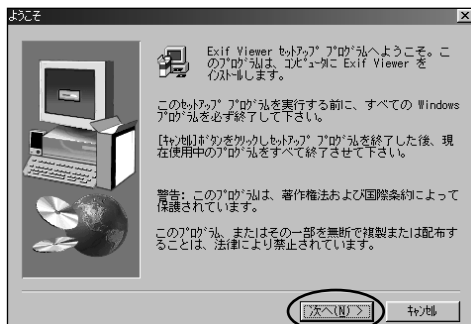
●終了方法
タスクバー上のアプリケーションソフトの表示の上でマウスの右ボタンをクリックします。開いたメニューの「閉じる」をクリックすると、アプリケーションソフトが終了します。
詳しくは、パソコンの使用説明書をご覧ください。

②添付のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットしてください。

③「マイ コンピュータ」ウィンドウの「Utility（D:)」をダブルクリックします。

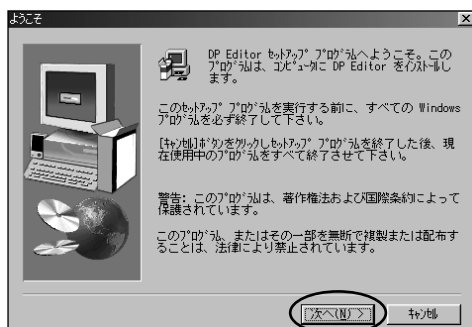
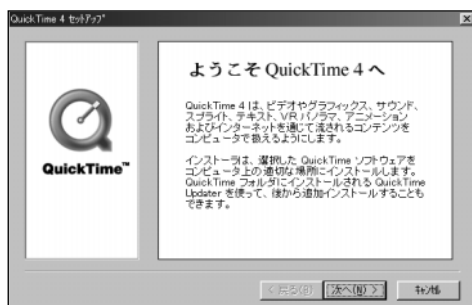
●CD-ROMドライブがD:ドライブの場合

Exif Viewer , DP Editor , QuickTime , Exif Launcherの順にインストールを進めます。インストールを中止したい場合は“キャンセル”ボタンをクリックしてください。
表示中のセットアッププログラムを中止して、次のプログラムに進みます。

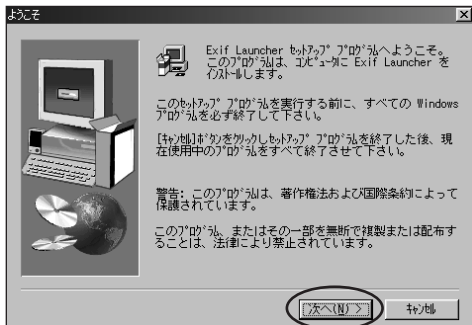
④CD-ROMの中のViewerフォルダをダブルクリックします。
⑤Viewerフォルダの画面が表示されたら「Setup.exe」をダブルクリックします。
Exif Viewerのセットアッププログラムが起動します。

⑥“次へ>”ボタンをクリックします。
インストール先の選択画面が表示されますので、確認して“次へ>”ボタンをクリックします。
画面の指示に従って、インストールを進めてください。インストールが完了すると、DP Editorのセットアッププログラムが起動します。

インストールの途中で「--- .dll が見つかりません」などのメッセージが表示された場合には、バックグラウンドで動いている（①の作業では終了できなかった）アプリケーション（スクリーンセーバーなど）がありますので、プログラムの強制終了を行ってください。強制終了の方法については、Windows 98、Windows 2000 Professional の使用説明書をご覧ください。

左下へ

3

⑦“ 次へ> ” ボタンをクリックします。
インストール先の選択画面が表示されますので、確認して“ 次へ> ” ボタンをクリックします。
インストールが完了すると、QuickTimeのセットアップププログラムが起動します。

⑧画面の指示に従って、インストールを進めてください。
インストールが完了すると、Exif Launcherのセットアッププログラムが起動します。

- 「インストールの種類を選択」画面では、必ず「すべてをインストール」を選択してください。
- 「ユーザ登録」画面には、何も入力しなくてもインストールできます。
- 「完了」画面では、「はい、QuickTime README ファイルを見ます。」「はい、サンプルムービーを見ます。」のチェックを外してから“ 閉じる ” ボタンをクリックしてください。「完了」画面が背面に回って見えないときは、セットアップ画面の任意の場所をクリックします。

次ページへ続く

⑨ “ 次へ> ” ボタンをクリックします。
インストール先の選択画面が表示されますので、確認して “ 次へ> ” ボタンをクリックします。

⑩インストールが終了したら、“ OK ” ボタンをクリックします。

これで、全てのアプリケーションのインストールが終了しました。

Windows で使用する

①パソコンを起動して「マイ コンピュータ」アイコンをダブルクリックして開きます。
②撮影したメディアを本機にセットして電源を入れます。

③本機とパソコンをUSBケーブルで接続します。「マイ コンピュータ」の中に、「リムーバブルディスク」アイコンが現れたら、本機とパソコンは正しく接続されています。

- 「リムーバブルディスク」アイコンが本機にセットされているメディアを示しています。
- 本機のPCモードランプが点灯します。
- メディアとして Zip ディスクを使うかあるいはスマートメディアまたはPCカードを使うかを メディア切換 ボタンで切り換えられます。パソコンと接続する前に メディア切換 ボタンでメディアを選択してください。
  選択されているメディアは選択メディアランプで表示されます。

- 画像加工するには、別途アプリケーションをインストールして使用する必要があります。

4 使用説明書（PDF）を読みましょう

CD-ROM に入っている使用説明書（PDF）を読むためには、Adobe Systems 社の “ Acrobat Reader ” をインストールする必要があります。

Acrobat Readerのインストール

(1) パソコンの電源を入れて Windows を起動します。

(2) パソコンの CD-ROM ドライブに添付の CD-ROM をセットします。

(3) 他の全てのアプリケーションを終了します。

●他のアプリケーションが実行中には “ ….dll が見つかりません ” などのメッセージが出て、インストールが正しく行えない場合があります。

(4) CD-ROM 内の「Acroread」フォルダにあるセットアッププログラム「ACRD4JPN.EXE」をダブルクリックします。

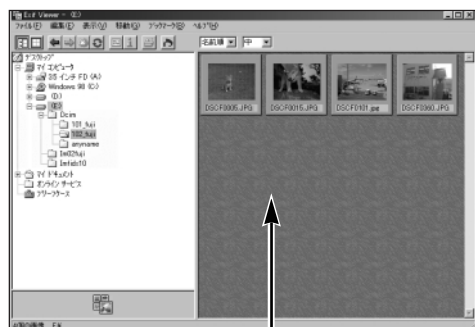
(5) 画面の指示に従ってインストールを進めます。

使用説明書とその読み方

(1) パソコンの CD-ROM ドライブに添付の CD-ROM をセットします。

(2) CD-ROM ドライブの「Viewer」フォルダを開くと「Manual.pdf」ファイルがあり、Acrobat Reader で表示することができます。

●より快適にご覧になるため、「Manual.pdf」ファイルをハードディスクにコピーすることをおすすめします。
●Acrobat Reader の使用方法については、Acrobat Reader のヘルプメニューの中のオンラインガイドをご参照ください。

左下へ

サムネイル表示領域

Exif Viewer と Exif Launcherがインストールされている場合は、Exif Viewerが起動して、上の画面を表示します。

●Exif Launcherは、インストールするとスタートアップメニューに登録されるので Windows の立ち上げ時に自動的に起動します。終了させるには、タスクバー上の「 」アイコン上で右クリックするとメニューが出ますので、「終了」メニューを選択します。タスクバー上のアイコンが消えて終了します。

●Exif Launcherが動作していないときには、Exif Viewerは自動起動しません。Windows の「スタート」メニューから、Exif Viewerを起動してください。

タスクバーに上の図のアイコンが表示されているとき、Exif Launcherは動作しています。

④サムネイル表示領域にスマートメディアに記録されたデータのサムネイルが表示されます。

⑤サムネイルを直接ダブルクリックすると、画像ウィンドウが開いて画像が表示されます。
画像ウィンドウは、右上の “ クローズ ” ボタンをクリックすると閉じます。
また、サムネイルを選択して、デスクトップにドラッグ＆ドロップすると、画像をデスクトップにコピーすることができます。

次ページへ続く

●本機のファイルを開いているときや、本機のアクセスランプが点灯しているときには、以下の操作は行わないでください。メディアまたはメディア内のデータが破壊されることがあります。

本機の電源を切る／本機の操作ボタンに触れる／USBケーブルを抜く／メディアを取り出す／メディア切換ボタンを押す

⑥「ファイル」メニューから「終了」を選択するか、メインウィンドウの“クローズ”ボタンをクリックすると、Exif Viewerは終了します。

●Exif ViewerとDP Editorの詳しい使用方法については、CD-ROM内の使用説明書（PDF）をご覧ください。

⑦本機のアクセスランプが点灯していないことを確認します。Windows 2000 Professionalでは“アクセス中”表示が消えた後、タスクバー上の取り外しアイコン「」をクリックして、“USB Mass Storage”を取り外してください。

⑧USBケーブルを抜いてメディアを取り出してください。

●必ず本機のファイルをすべて閉じて、アクセスランプが点灯していないことを確認してください。

●パソコンの“コピーしています”という表示が消えてすぐ、USBケーブルを抜いたり、メディアを取り出したりしないでください。

●大きなサイズのデータをコピーした場合、パソコンの表示が消えても、アクセスがしばらく行われている場合があります。

●Windows 2000 Professionalで「ハードウェアの取り外し」を行わずにUSBケーブルを抜くと、パソコンがハングアップすることがあります。

2 Windows 2000 ProfessionalのUSB Driverの更新

①パソコンの電源を入れて、Windows 2000 Professionalを起動します。
添付のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。
②本機にメディアをセットして、電源を入れます。
③USBケーブルを使って、本機とパソコンのUSBポートを接続します。
④コントロールパネルを開き、「システム」をクリックして、システムのプロパティを開きます。
⑤「ハードウェア」タブを選択し、“デバイスマネージャ（D）”ボタンをクリックします。
⑥デバイスマネージャウィンドウ内の「USBコントローラ」をクリックし、更に「USB Mass Storage」を右クリックし、「プロパティ（R）」を選択します。

●USBコントローラの下にUSB Mass Storageが見つからない場合は、「その他のデバイス」を探してください。

⑦「ドライバ」タブを選択して、“ドライバの更新（P）”ボタンをクリックすると、デバイスドライバのアップグレードウィザードが開始します。
⑧検索方法の選択で、「このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する（D）」を選択して、“次へ>”ボタンをクリックします。

●ダイアログが開いたときは、「デバイスに最適なドライバを検索する（推奨）（S）」が選択されています。「このデバイスの.....（D）」を選択してください。

Windows でのUSB Driverの更新

次の場合にUSB Driverの更新を行ってください。

(1) ドライバのバージョンアップをするとき
(2) ドライバをインストールしても動作しないとき

1 Windows 98のUSB Driverの更新

①パソコンの電源を入れて、Windows 98を起動します。
②添付のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。
③「マイ コンピュータ」を開き、CD-ROM内の“ \USBDRV\WIN98 \UNINST ”フォルダの“ UNIN_FUM.EXE ”をダブルクリックして、インストール済みのドライバを削除します。

ドライバを削除する際にはすべてのファイルを閉じてください。

④新しいドライバをインストールしてください。

左下へ
⑨デバイスドライバの選択画面でモデル（D）：にUSB Mass Storageを選び、“ デスク使用（H）”ボタンをクリックします。
⑩場所の指定ダイアログ（フロッピーディスクからインストール）が表示されますので、CD-ROMドライブの\USBDRV\WIN2K PROを選択して“ OK ”ボタンを押します。
●“ 参照 ”ボタンを押すと簡単に選択できます。
⑪デバイスドライバの選択画面に戻ったら、“ 次へ> ”ボタンをクリックします。
⑫デバイスドライバのアップグレードウィザードに戻ったら、“ 次へ> ”ボタンをクリックします。
⑬デバイスドライバのアップグレードウィザードの完了画面が表示されます。“ 完了 ”ボタンをクリックすると、ドライバの更新は完了です。

Windows でのアンインストール

インストールしたソフトウェアが不要になったり、インストールがうまくいかなかったときにのみ行ってください。

1 Exif Viewer , DP Editor , Exif Launcher のアンインストール

コントロールパネル内の「アプリケーションの追加と削除」を使うことにより、アプリケーションソフトを自動的にアンインストールすることができます。

●必ず Exif Viewer、DP Editor、Exif Launcherを終了させてからアンインストールしてください。
●Exif Launcherを先にアンインストールしてから、Exif Viewerをアンインストールしてください。Exif Launcherのみが残った状態で本機を接続した場合、トラブルの原因となることがあります。

Macintoshにインストールする

1 動作環境

本ソフトウェアをお使いいただくには、以下の条件が揃っていることが必要です。
インストールを始める前にお確かめください。

対応機種：Power Macintosh G3*、PowerBook G3*、
Power Macintosh G4、iMac、iBook
(* USBポートが標準装備されている機種)
OS：Mac OS 8.5.1～9.0.4（日本語版のみ）
メモリ：32MB以上(推奨64MB以上)
ハードディスク空き容量：インストールに必要な容量 ………60MB以上
動作に必要な容量 ………………110MB以上

●Macintoshと本機は直接USBケーブルで接続してください。
USBハブを経由して接続した場合、正常に動作しないことがあります。
●USBインターフェースボードを使用した場合の動作保証はいたしません。

①パソコンの電源を入れて、Windows 98を起動します。
②「マイ コンピュータ」を開き、コントロールパネルの「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリックします。
③アンインストールしたいアプリケーションを選択／削除します。
●「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」が表示されますので、削除したいソフトウェア（Exif Viewer , Exif LauncherまたはDP Editor）を選択して、“ 追加と削除 ” ボタンをクリックします。
④削除を確認します。
●確認画面が表示されます。実行すると取り消すことはできないので、慎重に行ってください。
⑤Uninstall Shieldが起動します。
●アンインストールが終了したら、“ OK ” ボタンをクリックします。

●必ずExif Viewer , DP Editor , Exif Launcherを終了させてからアンインストールください。
●Exif Launcherを先にアンインストールしてから、Exif Viewerをアンインストールしてください。
Exif Launcherのみが残った状態で本機を接続した場合、トラブルの原因となることがあります。

左下へ

2 USB Driverのインストール

①Macintoshの電源を入れて、Mac OSを起動します。
②Macintoshの機種のチェックとアップデート（iMacをご使用の方のみ）を行います。
お客様がiMacをご使用の場合、USBを安定に動作させるためiMacアップデートが必要な場合があります。それ以外の機種ではアップデートの必要はありません。
以下の方法でご確認ください。
①「アップル」メニューの「Appleシステム・プロフィール」を選択します。
②「装置とボリューム」タブを選択します。
③丸で囲んだ部分がUSBマネージャのバージョンです。

USBマネージャーのバージョンが1.0.1の場合iMacのアップデートが必要です。1.1以降の場合、アップデートは必要ありません。

●iMac アップデートについて
iMacアップデータ・ファイル「iMac Firmware Update」「iMac Update」をアップルコンピュータ株式会社のインターネットホームページ　http://www.apple.co.jp/ftp-info/index.htmlや、雑誌の付録CDなどで入手されたうえで、iMacのアップデートを行ってください。アップデート方法は、アップデータに添付された説明文書ファイルをお読みください。

次ページへ続く

③ File Exchange が有効かチェックしましょう

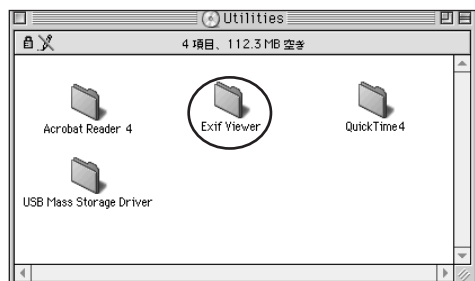
お客様がUSB Driverをお使いいただくには、Mac OS付属の「File Exchange」が動作している必要があります。コントロールパネルの機能拡張マネージャを選択して、File Exchangeのチェックボックスを確認してください。「×」マークが付いていなければ、「×」マークを付けてMacintoshを再起動してください。

④ドライバを機能拡張フォルダにコピーしましょう

①添付のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットすると、CD-ROMアイコンが現れます。

②CD-ROMアイコンをダブルクリックして、「USB Mass Storage Driver」フォルダを開くと"USB04CB_StorageShim"、"USB04CB_StorageDriver"の２つのファイルが現れます。この２つのファイルを、起動ドライブの「システムフォルダ」の中にある、「機能拡張」フォルダの中にコピーしてください。

③「特別」メニューの「再起動」を選択して、Macintoshを再起動します。

3 添付アプリケーションのインストール

①添付のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットしてCD-ROMのアイコンを開くと、「Exif Viewer」のフォルダが現れます。

②「Exif Viewer」のフォルダをMacintoshのハードディスク上にコピーします。

③「QuickTime 4」のフォルダを開いて、「QuickTime Installer」アイコンをダブルクリックして、インストールを開始します。

- ●「インストール種類の選択」画面では必ず、「すべてをインストール」を選択してください。
- ●「ユーザ登録」画面には、何も入力しなくてもインストールできます。

④終了したら、Macintoshを再起動してください。

以上でインストールは終了です。

⑤本機とMacintoshを接続しましょう

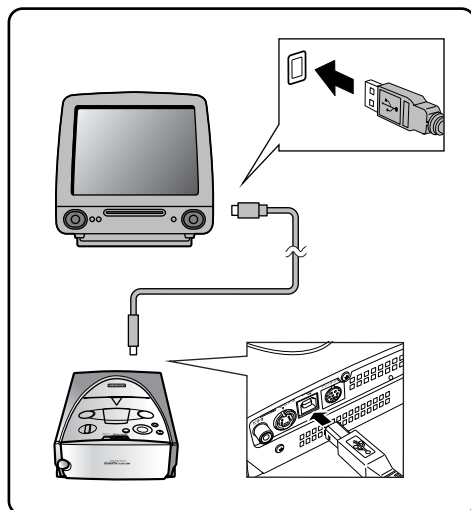
①本機にメディアをセットして電源を入れます。

②USBケーブルを使って、本機とMacintosh本体のUSBポートを接続します。

●Macintosh本体のUSBポートと接続してください。USBハブ経由の場合には正常に動作しない場合があります。
USBポートが２つ以上ある場合は、どのポートに接続してもかまいません。

●USBコネクタは奥まで差し込んで、確実に接続してください。正しく接続されていない場合は、正常に動作しません。

●エラーなく通信するため、添付USBケーブルは延長ケーブルを接続せずにお使いください。

③デスクトップ上に新たなボリュームアイコン（本機）が表示されたら、セットアップは完了です。

左下へ

4 使用説明書（PDF）を読みましょう

CD-ROMに入っている使用説明書（PDF）を読むためには、Adobe Systems 社の“ Acrobat Reader ”をインストールする必要があります。

Acrobat Readerのインストール

(1) Macintoshの電源を入れて起動します。

(2) MacintoshのCD-ROMドライブに添付のCD-ROMをセットします。

(3) 他の全てのアプリケーションを終了します。アプリケーションメニューから、Finder以外のソフトをクリックして選択し、「ファイル」メニューから「終了」を選択します。

(4) CD-ROM 内の「Acroread Reader 4」フォルダにあるセットアッププログラム「Japanese Reader Installer 」をダブルクリックします。

(5) 画面の指示に従ってインストールを進めます。

使用説明書とその読み方

(1) MacintoshのCD-ROMドライブに添付のCD-ROMをセットします。

(2) CD-ROMドライブの「Exif Viewer」フォルダを開くと「Manual.pdf」ファイルがあり、Acrobat Reader で表示することができます。

●より快適にご覧になるため、「Manual.pdf」ファイルをハードディスクにコピーすることをおすすめします。

●Acrobat Reader の使用方法については、Acrobat Reader のヘルプメニューの中のオンラインガイドをご参照ください。

次ページへ続く

Macintoshで使用する

①Macintoshを起動します。
②撮影したメディアを本機にセットして電源を入れます。

> メディア切換 ボタンにより、Zipディスクとメモリーカード（スマートメディアまたはPCカード）に切り換えられます。
> パソコンと接続する前に、メディア切換 ボタンでメディアを選択してください。
> 選択されたメディアは選択メディアランプで表示されます。

③本機とMacintoshをUSBケーブルで接続します。「リムーバブルディスク」アイコンがデスクトップに表示され、本機のPCモードランプが点灯すれば、本機とMacintoshは正しく接続されています。

④Exif Viewerのアイコンをダブルクリックして起動します。メイン画面が表示されます。

⑤画面左側のリストに表示された「名称未設定」ボリュームの「DCIM」の中の「100_FUJI」などを選択すると、右側のサムネイル画像表示領域にメディアに記録されたデータのサムネイルが表示されます。

〈メイン画面〉

Macintoshでのアンインストール

> インストールしたソフトウェアが不要になったり、インストールがうまくいかなかったときのみ行ってください。

1 USB Driverのアンインストール

本機と接続中でないことを確認した後、Macintosh HD（起動ボリューム）のシステムフォルダ内の「機能拡張」フォルダを開き、“USB04CB_StorageShim”、“USB04CB_StorageDriver”の２つのファイルをゴミ箱に入れてください。
その後、Macintoshを再起動して、「特別」メニューの「ゴミ箱を空に…」を選択してください。

2 Exif Viewer、DP Editorのアンインストール

Exif Viewer , DP Editorを終了した後、Exif Viewer , DP Editorのファイルをゴミ箱に入れ、「特別」メニューの「ゴミ箱を空に…」を選択してください。

⑥サムネイルを直接ダブルクリックすると、画像ウィンドウが開いて画像が表示されます。
開いた画像ウィンドウは、メインウィンドウの「クローズ」ボックスをクリックすると閉じます。
また、サムネイルを選択して、デスクトップにドラッグ＆ドロップすると、画像をハードディスクにコピーすることができます。

本機へのアクセス中には、以下の操作は行わないでください。メディアまたはメディア内のデータが破壊されることがあります。
パソコンの電源を切る／本機の操作ボタンに触れる／USBケーブルを抜く／メディアを取り出す／ メディア切換 ボタンを押す。

⑦「ファイル」メニューから「終了」を選択するか、「クローズ」ボックスをクリックすると、Exif Viewerは終了します。

●Exif Viewerの詳しい使用方法については、CD-ROM内の使用説明書（PDF）をご覧ください。

⑧デスクトップ上の「リムーバブルディスク」アイコンを「ゴミ箱」にドラッグ＆ドロップして捨てるか、アイコンを選択した後、画面最上部のメニューバーの「特別」メニューから「取り出し」を選択してください。スマートメディア／PCカードの場合、選択メディアランプが点滅してから「取出し」ボタンを押してください。

「取り出し」を行わずにメディアを抜いたり、本機の電源を切った場合、メディアが破壊されたり、Macintoshがハングアップすることがあります。

Windows／DOS用、または本機でフォーマットされたメディアを使用し、ハードディスク内のフォルダをメディアの同じ名称のフォルダに上書きする際に、ファイルが破壊される場合があります。メディア内のフォルダを削除するか、フォルダ名称を変更した上でコピーしてください。

左下へ

USB Driverのトラブルシューティング

正常に動作せず、トラブルが発生したときには、以下のことをご確認ください。

1 WindowsおよびMacintosh共通の項目

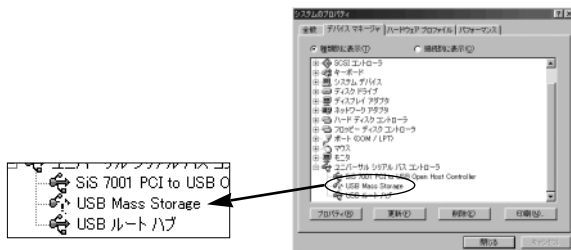
本機をパソコンに接続しても、リムーバブルディスク・アイコンを表示しません。

■本機の電源は入っていますか？
対策：本機の電源をONにしてください。

■USBケーブルは本機とパソコン本体に接続されていますか？
対策：USBケーブルの一端が本機に、もう一端がパソコン本体に接続されているか確認してください。

■[Win] 対応したOSをお使いですか？
対策：USB Driverは、対応したOSでお使いください。

次ページへ続く

■[Win] USB Driverは動作していますか？
対策：コントロールパネル内のシステムをクリックし、デバイスマネージャのタブを選択し、USB Driverをご確認ください。黄色い「！」や赤い「×」マークが付いていたら、ドライバをアンインストールした後、再度インストールを行ってください。

■[Mac] Mac OS 8.5.1以上をお使いですか？
対策： Mac OS 8.5.1 以上へOSをアップデートしてください。

■[Mac] iMacをご使用のとき、アップデートされていますか？
対策：iMacはアップデートが必要な場合があります。(→P.55)

■[Mac] USB Driverは有効になっていますか？
対策：機能拡張マネージャなどで「USB04CB_Storageshim」「USB04CB_StorageDriver」を有効に設定して再起動してください。

対策：コンピュータにUSB Driver をインストールしてください。USB Driver のインストールは、43ページ（Windows版）または55ページ（Macintosh版）をご覧ください。

メディア切換ボタンを押してもメディアが切り換わりません。

■USBケーブルでパソコン本体に接続中ですか？
対策：パソコン接続を外して、メディア切り換えを行ってください。

■メディアが挿入されていますか？
対策：メディアを挿入して、メディア切り換えを行ってください。

2 Windows固有の項目

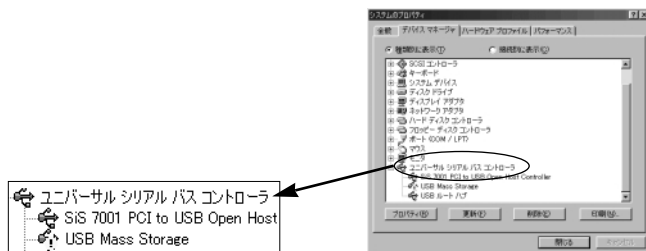
本機をパソコンに接続しても、ドライバのインストールが始まりません。

■本機の電源は入っていますか？
対策：本機の電源をONにしてください。

■USBケーブルは本機とパソコン本体に接続されていますか？
対策：USBケーブルの一端が本機に、もう一端がパソコン本体に接続されているか確認してください。

■対応したOSをお使いですか？
対策：USB Driverは対応したOSでお使いください。

メディアのアクセスの際、パソコンがハングアップします。

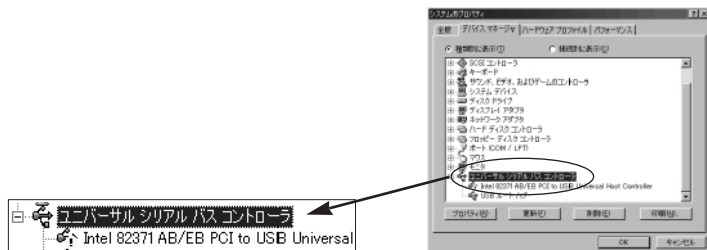
■[Win]デバイスマネージャを開いたとき「ユニバーサル シリアル バス コントローラ」の中のドライバに黄色い「！」マークが付いていませんか？
対策：ユニバーサル シリアル バス コントローラのドライバの動作を妨げているドライバがあります。パソコンの環境をチェックしてください。

■[Win]デバイスマネージャを開いたときUSB Driverに黄色い「！」マークが付いていませんか？
対策：USB Driverの動作を妨げているドライバがあります。コンピュータの環境をチェックしてください。

■[Mac]iMacをご使用のとき、アップデートされていますか？
対策：iMacはアップデートを行わないと動作が不安定になることがあります。（→P.55）

■USB Driverはインストールされていますか？

左下へ

■USB機能は有効になっていますか？
確認：　コントロールパネルの「システム」をクリックして、デバイスマネージャを選択し、「ユニバーサル シリアル バス コントローラ」をご確認ください。
対策1：「ユニバーサル シリアル バス コントローラ」が表示されていないとき、USB機能は無効に設定されています。詳しくはコンピュータの使用説明書をご覧の上、有効に設定してください。
対策2：黄色い「！」や赤い「×」マークが付いていたら、USB Driverは動作しません。USB Driverをアンインストールしたのち再度インストールしてください。

■Windows 2000 Professionalの場合 Administratorグループでログインしていますか？
対策　：Administratorグループでログインしてください。

■ディスクが初期化されていません。
対策　：本機で初期化してください。

次ページへ続く

本機をパソコンに接続したとき、「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されます。

■USB Driverはインストールされていますか？
　対策：メッセージに従って、パソコンにドライバをインストールしてください。

リムーバブルドライブ・アイコンをダブルクリックすると「アクセスできません。デバイスの準備ができていません」の警告が表示されました。

■本機にメディアは挿入してありますか？
　対策：本機にメディアを挿入してください。

■メディアはフォーマット（初期化）済みですか？
　対策：本機のUSB接続をはずしてメディアを挿入し、フォーマットしてください。（→P.37）

■本機でフォーマットしたメディアをお使いですか？
　対策：本機では、パソコンでフォーマットしたメディアは取り扱えません。

本機からメディアを取り出したときに警告メッセージが表示されました。

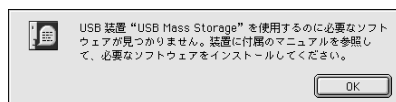
　対策：この操作により、メディアおよびデータが壊れる可能性があります。本機のファイルをすべて閉じて“アクセス中”表示が消えてからメディアを取り出してください。

パソコンが正常終了しません。

■パソコンの機種によっては、本機をUSB接続したままでは正常終了しない場合があります。
　対策：次回からは、パソコンと本機の間のUSB接続ケーブルを手順*に従って外してからWindowsを終了させてください。
　＊Windows 2000 Professionalの場合は52ページを参照してください。

3 Macintosh固有の項目

本機をパソコンに接続したとき、以下のメッセージが表示されます。

■USB Driverはインストールされていますか？
　対策：コンピュータにドライバをインストールしてください。

USB接続したときに、Mac OSの「ディスクの初期化」が表示されました。

■メディアはフォーマット済みですか？
　対策：本機のUSB接続をはずしてメディアを挿入し、本機でフォーマットしてください。（→P.37）

■File Exchangeが有効になっていないため、メディアを認識できません。
　対策：File Exchangeを有効にしてください。詳しくは56ページをご覧ください。

■File Exchangeが取り扱えないサイズのメディアであり、Mac OSでは使用できません。
　対策：他のメディアを使用してください。

パソコンと本機の接続ケーブルを抜いたとき、「デバイスの取り外しの警告」が表示されます。

■ Windows 2000 Professional をお使いですか？
対策：ケーブルを抜くまえにタスクバー上の取り外しアイコン をクリックして、“ USB Mass Storage ” を取り外してください。

パソコンと本機の接続ケーブルを抜いたときや、リームーバブルディスク・アイコンをダブルクリックしたとき、メッセージが表示されて開けません。

■他のUSBリムーバブルドライブを接続していますか？
対策：一部のUSBリムーバブルドライブは、他のリムーバブルドライブと同時に使用すると正しく動作しません。USBリムーバブルドライブの接続を全て外した後に本機を接続してください。また、一部のUSBストレージ機器には、Exif Launcherが常駐しているとパソコンの動作が不安定になるものがあります。「Exif Viewerが自動的に起動するのを止めたいのですが」をご覧になりExif Launcherを外してみてください。

Exif Viewerが自動的に起動するのを止めたいのですが。

■以下の手順でExif Launcherを外すと、Exif Viewerは自動で起動しなくなります。
対策：パソコンを再起動して、デスクトップの壁紙が出たらすぐに「Shift」キーを押し続けてください。デスクトップのアイコンや壁紙などがすべて表示されて起動が終わったら「Shift」キーをはなします。「スタートボタン」をクリックして、「スタートメニュー」から「プログラム」→「スタートアップ」→「Exif Launcher」を選択して右クリックし、開いたメニューの中から「削除」を選択します。もう一度再起動すると、「Exif Launcher」は自動で常駐しなくなります。

左下へ
本機からメディアを抜いたときに警告メッセージが表示されました。

対策：この操作により、メディアおよびデータが壊れる可能性があります。本機からメディアを取り出す前に、ドライブを選択し「特別」メニューの「取り出し」を選択してください。またはドライブをゴミ箱にドラッグ＆ドロップしてください。

本機からUSBケーブルを抜いたときに警告メッセージが表示されました。

対策：この操作により、メディアおよびデータが壊れる可能性があります。本機からUSBケーブルを抜く前に、ドライブを選択し「特別」メニューの「取り出し」を選択してください。またはドライブをゴミ箱にドラッグ＆ドロップしてください。

USB Driver , Exif Viewer , DP Editor , Exif Launcher 質問用紙

本ソフトウェアに関するご質問がある場合は、質問用紙をFAXしていただくか、電話でお問い合わせください。
下記の「質問用紙」をA4サイズに拡大コピーして、質問事項および使用環境を詳しくお書きください。
ご質問によっては回答するまでに時間を要する場合もありますので、あらかじめご了承ください。

富士フイルムDIサポートセンター

月～金　9：30～12：00 ,13：00～17：00（祝祭日休み）
FAX：0424－81－0162　　TEL：0424－81－1615

フリガナ お名前					
ご住所	〒				
TEL	（　）		FAX	（　）	
質問	ご記入日	年　月　日			
	動作環境	接続機器名		コンピュータ機種名	
		メモリー容量	MB	OSバージョン	
		ハードディスク容量	MB	その他	
	質問内容				

回答	受付日	年　月　日	整理番号	
	回答日	年　月　日	担当者	
	回答			

トラブルシューティング

	こんなとき	ここをお確かめください
電源	電源が切れない	画像データの保存中や読み出し中は、電源が切れないようになっています。 スマートメディア、PCカードおよびZipディスクのアクセスランプが消えてから、電源ボタンを押してください。 また、専用プリンターへの転送中も、電源が切れないようになっています。 専用プリンターへの転送が終了してから、電源ボタンを押してください。
テレビ画面	ワイドテレビでのご使用時、メニューバーや作業指示メッセージが、画面からはみ出して見えない	テレビの表示モードを「ノーマル」に切り替えてください。 操作方法は、お使いのテレビの説明書をご覧ください。
操作	Zipディスクが取り出せない	電源が入っていないと取り出せません。 また、Zipディスクアクセスランプが消えないと取り出せません。
	「ディスクがプロテクトされています プロテクトされていないディスクを入れてください」と表示される	Zipディスクが“ライトプロテクト”もしくは“リード・ライトプロテクト”されています。プロテクトを設定した機器でプロテクトを解除した上で再度挿入するか、プロテクトされていないZipディスクを挿入してください。
	Zipディスクにアクセスできない	他のシステムでのプロテクトがかかっています。
	「ディスクエラーが発生しました。ディスクを確認してください」(「エラーランプ」点滅)と表示される。	「全てコピー」操作中の時には、Zipディスクがライトプロテクトされていないかご確認ください。ライトプロテクトされていない場合、又はその他の操作の場合には、パワーボタンで電源を切り、ACアダプターをコンセントから一度抜いて、もう一度電源を入れ直してから操作してください。 ZipディスクがMacintosh用の場合、本機でフォーマットしてからご使用ください。
	スマートメディアをセットしているのに、カード再生ができない	スマートメディアの表裏が、逆になっていないか確認してください。 金メッキの接触面(金色の部分)を上にして、奥まで入れてください。
	スライドショーから元の画面に戻れなくなった	スライドショーを中止するときは、もどるボタンを押して一時停止し、再度もどるボタンを押してください。
	画像の拡大ができない	800 × 600ピクセル未満の画像は、拡大できません。
DPOF関連	FDiプリントサービスで注文指定したつもりのないものがプリントされてきた	以前に注文された画像を削除していない場合、再び注文となりプリントされます。 ご注文の際には、必ず「DPOF画像を確認する」(→P.34)にて、テレビモニター上でご確認ください。
	「アルバムを再生する」で設定した画像の回転やトリミング情報がDPOF編集の画像に反映されない	「アルバムを再生する」(→P.22)で設定した画像の回転情報や、トリミング情報は、DPOF編集の画像には反映されません。 「DPOF画像を編集する」(→P.35)で設定をやり直してください。 また、DPOF編集の中で画像の回転の設定はできません。

主な仕様

■仕様

保存メディア	Zipディスク容量　250MB、100MB（Windows／DOSフォーマット）
対応スマートメディア	容量：2、4、8、16、32、64MB（電圧：3.3V、5V対応）
対応PCカード	PCMCIA TYPE I／II 準拠ATA対応PC カード
対応フォーマット	DCF・Exif Ver.1.0～2.1（JPEG準拠またはTIFF-YC／RGB準拠）・DPOF、AVIファイル（保存のみ）
対応画像サイズ	160（横）×120（縦）ドット～4096（横）×4096（縦）ドット
対応OS	Windows 98／98SE／2000 Professional（日本語版）、Mac OS 8.5.1～9.0.4（日本語版）
ビデオ出力端子	NTSC方式（ビデオ・S-ビデオ）
デジタル出力	専用プリンター（NX-700シリーズ、TX-70）
デジタルインターフェイス	USB
電源	専用ACパワーアダプター（AC-5VH、DC5V／2.0A）
消費電力	最大約9W
本体外形寸法	132（幅）×52（高さ）×208（奥行き）mm
本体質量	約1.0Kg

●動作保証温度10℃～35℃、湿度20％～80％（結露しないこと）
● Macintosh用のZipディスクは本機でフォーマットしてからご使用ください。
● Exif Ver2.1は、従来のExifに対して大幅に機能を拡張した画像規格です。ただし、Exif対応の機器で機能が制限されるものがあります。
●次の弊社製カメラでフォーマットされたスマートメディア（64MB品）は使用できません。
FinePix700、FinePix500、CLIP-IT50、DS-250HD
(他社のカメラの対応状況については、それぞれのメーカーにお問合せください。)
●オーディオファイルは本機では保存できません。
(弊社製カメラFinePix40iでは“svqファイル”を示します。)
●仕様・性能は、予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

■付属品

ACパワーアダプター（AC-5VH）	1個
リモコン（RM-700）	1個
リモコン用乾電池（単3形）	2本
Zipディスク（100MB）	1枚
ビデオケーブル（ピンプラグ・約1.5m）	1本
S-ビデオケーブル（約1.5m）	1本
専用プリンター接続ケーブル	2本
使用説明書（本書）	1冊
CD-ROM	1枚
保証書	1部
ゴム足	2個

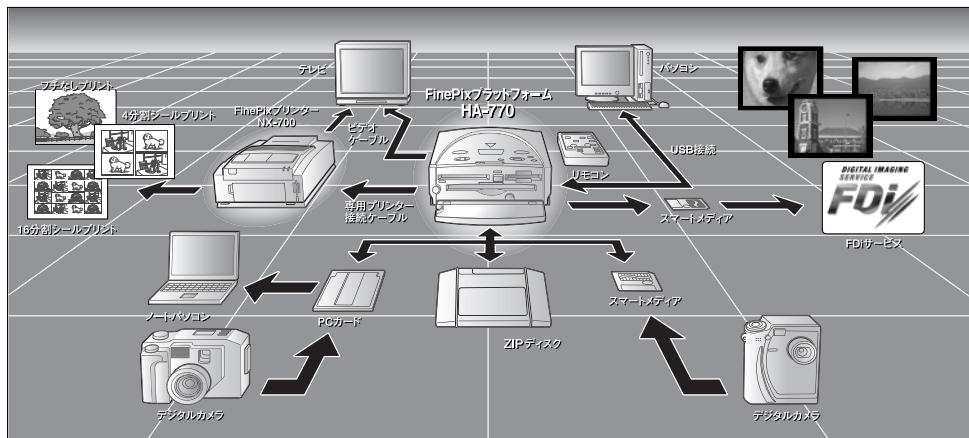
■ Zip250MB 1枚に保存できる画像枚数の目安

＊弊社デジタルカメラでの撮影画像による目安です。
＊ () 内はZip 100MB使用時の保存画像枚数です。

記録画素数（ピクセル）			3040×2016	2400×1800	1800×1200	1280×960	640×480
画質モード	Hi（非圧縮）	RGB	約13枚 (5)	約19枚 (7)	–	–	–
		YC	約20枚 (8)	–	約50枚 (20)	–	–
	Fine		約90枚 (30)	約130枚 (50)	約260枚 (100)	約350枚 (140)	約970枚 (380)
	Normal		約160枚 (60)	約270枚 (110)	約470枚 (190)	約610枚 (240)	約1370枚 (540)
	Basic		約440枚 (170)	約580枚 (230)	約790枚 (310)	約970枚 (380)	約1720枚 (680)

● データ量は画像ごとに一定ではありません。Zipディスク内に作るアルバムの数によっても、保存できる画像枚数は変わります。
● 本機はZipディスク250MBで最適設計されています。高速・大容量な250MB Zipディスクでの使用をおすすめします。

システム構成について

FinePix PLATFORM HA-770は、アルバムの保存・鑑賞だけでなく、DPOFの設定やホームプリンターを使ってのプリントなども楽しめます。幅広くご活用ください。

アフターサービスについて

■保証書

- 保証書はお買上げ店で所定事項の記入、および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。
- 保証期間
  本体：お買上げの日から1年間

■アフターサービス

●調子が悪いときはまずチェックを
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

●それでも調子が悪いときは
お買上げ店、またはフジサービスステーションにご相談ください。

●保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

●修理部品の保有期間
本機の補修用部品は、製造打ち切り後8年をめやすに保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。

●修理ご依頼に際してのご注意

- 保証規定による修理をお申し出になる場合には、必ず保証書を添付してください。
- お買上げ店やフジサービスステーションの窓口で、ご指定の修理箇所、故障内容を詳しくご説明ください。
- 修理箇所のご指定のないとき、弊社では各部点検をはじめ品質、性能上必要と思われるすべての箇所を修理しますので、料金が高くなることがあります。
- 修理料金が高く見込まれる修理のときは、「○○○○円以上は連絡してほしい」と料金をご指定ください。ご指定のないときは、修理をすすめさせていただきます。
- 修理に関係のない付属品類は、紛失などの事故を避けるため、修理品から取り外してお手もとに保管してください。
- 修理のために製品を郵送される場合は、ご購入時の外箱に入れてしっかり包装し、必ず書留小包でお送りください。
- 修理期間は故障内容により多少違いますが、厳重な調整検査を行いますので普通修理品の場合は、フジサービスステーションで、お預かりしてから通常7～14日位をご予定ください。

＊ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

■ 型名：HA-770

■ 故障の状況：できるだけ詳しく

■ ご購入年月日

FUJIFILM

富士写真フイルム株式会社

●本製品の機能、操作方法などに関するお問い合わせは…

富士フイルムDIサポートセンター　TEL (0424) 81-1615　FAX (0424) 81-0162

(月曜日～金曜日　午前9:30～12:00　午後1:00～5:00)

●富士フイルム製品の情報は…

FUJIFILM ホームページ　http://www.fujifilm.co.jp

●修理の受付は…

札　幌：富士フイルムサービスステーション　〒060-0002 札幌市中央区北2条西4-2 札幌三井ビル別館　TEL (011) 222-3973
仙　台：富士フイルムサービスステーション　〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-6-1 仙台第一生命タワービル　TEL (022) 265-2149
東　京：富士フイルムサービスステーション　〒105-0022 東京都港区海岸1-9-15 竹芝ビル　TEL (03) 3436-1315
東　京：富士フォトサロン　〒104-0061 東京都中央区銀座5-1 銀座ファイブ　TEL (03) 3571-9411
新　潟：富士フイルムサービスステーション　〒951-8067 新潟市本町通7番町1153 本町通ビル　TEL (025) 223-7731
金　沢：富士フイルムサービスステーション　〒920-0864 金沢市高岡町1-39 住友生命金沢高岡町ビル　TEL (076) 263-3466
静　岡：富士フイルムサービスステーション　〒420-0859 静岡市栄町1-5 殖産ビル　TEL (054) 255-2465
名古屋：富士フイルムサービスステーション　〒460-0008 名古屋市中区栄1-12-19　TEL (052) 202-1851
大　阪：富士フイルムサービスステーション　〒541-0051 大阪市中央区備後町3-2-8 大阪長谷ビル　TEL (06) 6260-0915
大　阪：富士フォトサロン　〒530-0001 大阪市北区梅田1-9-20 大阪マルビル　TEL (06) 6346-0222
高　松：富士フイルムサービスステーション　〒760-0015 高松市紫雲町3-1 香西第2マンション　TEL (087) 834-8355
広　島：富士フイルムサービスステーション　〒732-0816 広島市南区比治山本町16-35 広島産業文化センター　TEL (082) 256-3511
福　岡：富士フイルムサービスステーション　〒812-0018 福岡市博多区住吉3-1-1　TEL (092) 281-4863
鹿児島：富士フイルムサービスステーション　〒892-0838 鹿児島市新屋敷町16 公社ビル　TEL (099) 226-2515

●本製品についての上記以外のお問い合わせは…

富士フイルム札幌営業所　〒060-0002 札幌市中央区北2条西4-2 札幌三井ビル別館　TEL (011) 241-7164
富士フイルム仙台営業所　〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-6-1 仙台第一生命タワービル　TEL (022) 265-2121
富士フイルム東京販売部　〒106-8620 東京都港区西麻布2-26-30　TEL (03) 3406-2387
富士フイルム名古屋営業所　〒460-0008 名古屋市中区栄2-10-19 名古屋商工会議所ビル　TEL (052) 203-5262
富士フイルム大阪支社　〒541-0051 大阪市中央区備後町3-5-11　TEL (06) 6205-6421
富士フイルム広島営業所　〒732-0816 広島市南区比治山本町16-35 広島産業文化センター　TEL (082) 256-3311
富士フイルム福岡営業所　〒812-0018 福岡市博多区住吉3-1-1　TEL (092) 281-0255

●富士フイルム製品のお問い合わせは…

お客様コミュニケーションセンター（月曜日～金曜日　午前9:30～午後5:00）TEL (03) 3406-2981

※土曜、日曜、祝日、年末年始は休業させていただきます。その他夏期等休業させていただく場合があります。
・東京：富士フイルムサービスステーションは、通常の土曜日(祝日、年末年始、夏期休暇以外)は営業しております。ただし、受け渡し業務のみとなります。
・大阪：富士フォトサロンは上記休業日のほか、毎月第３水曜日も休業させていただきます。
・富士フォトサロン・東京、大阪は受付業務のみです。

FGS-002109-SZ